

2005 年春季年会

年会プログラム

於 明星大学

2005 年 3 月 28 日 (月) ~ 3 月 30 日 (水)

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2005 年春季年会プログラム

期 日 2005 年 3 月 28 日 (月) ~ 3 月 30 日 (水)
 場 所 明星大学日野キャンパス (〒 191-8506 日野市程久保 2-1-1)
 電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2005 年 3 月 27 日 (日) ~ 3 月 30 日 (水) >
 日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
3月27日 (日)								記者会見					
								公開講演会					
3月28日 (月)	A			B. Solar - B						B. Solar - B		天文教育 フォーラム (H会場)	ASTRO-F 特別セッ ション (E会場)
	B			L. 太陽系						L. 太陽系/V. 地上観			
	C			T. 銀河団						W. 飛翔観			
	D			S. 銀河核		昼休み (理事会)		ポスター		S. 銀河核/R. 銀河			
	E			H. 高密度天体						H. 高密度天体			
	F			P. 星・惑星						P. 星・惑星			
	G			N. 恒星						N. 恒星			
	H			ジュニアセッション						ジュニアセッション			
3月29日 (火)	A	M. 太陽						M. 太陽		総会 出席者確認 受付終了 総会 (A会場) 受賞記念講演 (A会場)		懇親会	
	B	V. 地上観						V. 地上観					
	C	W. 飛翔観						W. 飛翔観					
	D	R. 銀河		ポスター		昼休み (評議員会)		R. 銀河					
	E	H. 高密度天体						H. 高密度天体					
	F	P. 星・惑星						Q. 星間					
	G	Y. 教育・他						U. 宇宙論					
3月30日 (水)	A	A. 世界物理						A. 世界物理		世界物理年 特別セッション (A会場)			
	B	V. 地上観						V. 地上観					
	C	W. 飛翔観						W. 飛翔観					
	D	R. 銀河		ポスター		昼休み		R. 銀河					
	E	H. 高密度天体											
	F	Q. 星間						Q. 星間					
	G	U. 宇宙論											
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

- A 会場 : 1号館 1F (1-115) 受 付 : 23号館 1F (23-104)
 B 会場 : 23号館 B1F (23-B103) ポスター会場 : 大学会館 3F
 C 会場 : 23号館 B1F (23-B104) 会議室 1,2,3 : 23号館 2F (23-201,202,203)
 D 会場 : 23号館 B1F (23-B105) 懇親会会場 : 大学会館 B1F
 E 会場 : 23号館 1F (23-105)
 F 会場 : 23号館 2F (23-206)
 G 会場 : 23号館 2F (23-205)
 H 会場 : シェイクスピアホール

◎講演数

講演数：合計 581

(口頭講演 (a)：335、ポスター講演 (b)：198、ポスター講演 (c)：48)

ジュニアセッション講演数：合計 35

(口頭 + ポスター：20、口頭のみ：10、ポスターのみ：5)

◎参加費用 (参加者は必ず参加登録をして下さい。)

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円	5,000 円
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円	5,000 円 (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円	2,000 円 (購入希望者のみ)

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※講演申し込み後にキャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で併行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90 cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3月28日の9:30から3月30日の13:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPまたは液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のためOHPでの発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前にPCをケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

1. 記者会見 : 27日(日) 13:30～14:30 シェイクスピアホール
年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公開講演会 : 27日(日) 14:00～17:00 シェイクスピアホール
3. 理事会 : 28日(月) 12:30～13:30 会議室1
4. 天文教育フォーラム : 28日(月) 17:00～18:30 シェイクスピアホール
5. ASTRO-F 特別セッション : 28日(月) 18:30～19:30 E会場
6. 評議員会 : 29日(火) 12:00～13:00 会議室1
7. 総会 : 29日(火) 15:00～16:30 A会場
(15:00～15:30 総会出席者確認、15:30 総会開始)
各賞の受賞
○ 2004年度事業報告
○ 2004年度決算報告
○ 監査報告
8. 林忠四郎賞受賞記念講演 : 29日(火) 16:30～17:00 A会場
「銀河および銀河団を用いた観測的宇宙論の研究」 須藤 靖 (東京大学)
9. 研究奨励賞受賞記念講演 : 29日(火) 17:00～18:00 A会場
「相対論的ジェットにおける粒子加速とエネルギー輸送の研究」 片岡 淳 (東京工業大学)
「彗星の起源研究に有効な新手法の開発およびその応用に関する研究
－彗星分子のオルソ・パラ比の導出－」 河北秀世 (県立ぐんま天文台)
「ダークハロー形成・進化の理論的研究」 福重俊幸 (東京大学)
- 小 10. 懇親会 : 29日(火) 18:30～ 大学会館 B1F
11. 世界物理年特別セッション : 30日(水) 15:00～17:00 A会場

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テーマ：「理科教育・科学教育の現状と天文教育への期待」

日時：2005年3月28日（月）17：00～18：30

場所：H会場（シェイクスピアホール）

概要：昨年秋の天文学会年会での「小学生の4割が天動説を信じている」という研究結果は世間の関心を集め、初等中等教育における理科教育の危機的状況を表すものだという報道もありました。この機会に、科学教育（理科・数学・技術教育の意味で、高等教育や生涯学習をも含む）や理科教育の広い観点から議論を起こしたいと考えました。

そこで、今回のフォーラムでは、学会の外から教育の専門家をお招きして、理科教育・科学教育の現場で、今、何が問題となっているのかを客観的データに基づきレビューして戴くことになりました。また、議論の時間をなるべく多くして、天文学コミュニティが広義の「教育」に対してどのようなスタンスで望むべきかを議論したいと思います。

プログラム： 司会：松田卓也（神戸大学）

○講演 初等中等教育「理科」の現状 -TIMSS2003 速報-
猿田祐嗣（国立教育政策研究所）

○講演 大人の科学離れの現状 -世論調査、国際比較の結果を中心に-
渡辺政隆（文部科学省科学技術政策研究所）

○講演 教育改革の動向から見た科学教育・天文教育のあり方
市川伸一（東京大学大学院教育学研究科）

○総合討論

世話人：松田卓也（神戸大学）、縣 秀彦（国立天文台）、
高橋 淳（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）、
矢治健太郎（国立天文台）、高橋典嗣（明星大学）

連絡先：縣 秀彦 h.agata@nao.ac.jp 電話 0422-34-3929 FAX 0422-34-3810

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「宇宙の恵み・太陽の恵み」

日時：2005年3月27日（日）14：00～17：00（開場 13：30）

場所：明星大学シェイクスピアホール

対象：中学生以上・一般向け

講演 I：太陽 —この神秘的なもの—

講演者：平山 淳（明星大学・教授）

講演 II：「世界物理年特別企画 アインシュタイン 100 年：相対論と天文学」
宇宙の誕生、宇宙の未来 —我々はどこから来てどこへ行くのか—

講演者：佐藤勝彦（東京大学・教授）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、お早めにご来場ください。

◎ ASTRO-F 特別セッション

「ASTRO-F 説明会 ～ 観測公募に向けて」

日 時 : 2005年3月28日(月) 18:30～19:30

場 所 : E会場(23号館)

概 要 : 赤外線天文衛星 ASTRO-F の一般公募観測の募集がこの秋に行われます。これに先立ち、ASTRO-F 衛星とそれによる観測について皆様に広く知って頂くため、ASTRO-F プロジェクト主催の説明会を開催します。

ASTRO-F は、IRAS を超える感度と空間分解能を持って、全天の赤外線サーベイを行うことを目的とした衛星ですが、加えて特定の天体・領域の指向観測を行う機能を持っています。約1.5年の冷媒寿命による観測期間中に、数千回の指向観測が行えると考えられています。指向観測機会の20%は日本および韓国に、10%がESA関係国による一般公募観測のために割り当てられています。残りの7割は、プロジェクト関係者によって立案される観測にあてられます。

ASTRO-F には、口径68.5cmの冷却望遠鏡に、波長1.8～26ミクロンの撮像および低分散分光を行う Infrared Camera (IRC)、波長50～180ミクロンでの撮像および撮像分光を行う Far-Infrared Surveyor (FIS) という二台の観測装置が搭載されます。これらの観測装置は、地球大気の影響のない、高品質でユニークなデータを提供します。

説明会では観測装置・観測モードの種類、観測への制約、プロジェクトによる観測計画との関係、今後のスケジュールなど、公募観測について皆様に考え始めて頂くための情報を広く説明する予定です。

ASTRO-F が公募観測を行う理由の一つに、広く天文コミュニティからの知恵を募ることで、ASTRO-F の限られたミッション期間を最大限有効に活用する観測計画を立てることがあります。様々な視点を持ったアクティブな研究者の皆様の参加を期待しています。

- プログラム :
1. あいさつとミッション概要 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)
 2. 衛星および観測装置の概要 山村一誠、中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)
 3. ASTRO-F による観測 尾中 敬 (東京大学)、芝井 広 (名古屋大学)
 4. 質疑応答

世 話 人 : 村上 浩、中川貴雄、山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)、
尾中 敬 (東京大学)

連絡先 : 山村一誠 iris_help@ir.isas.jaxa.jp
電話 : 042-759-8211, FAX: 042-786-7202
<http://www.ir.isas.jaxa.jp/ASTRO-F/>

◎世界物理年 特別セッション

「世界物理年特別企画 アインシュタイン 100 年：相対論と天文学 特別講演会」

日 時 : 2005 年 3 月 30 日 (水) 15:00 ~ 17:00

場 所 : A会場 (1号館)

概 要 : 2005 年は特殊相対性理論、光電効果、ブラウン運動の 3 つの重要な論文が書かれたいわゆるアインシュタイン奇跡の年からちょうど 100 年になります。これを記念し、国連が 2005 年を国際物理年と定め、国際的に多くの催しが企画されています。日本でも、世界物理年日本委員会が応用物理学会、電気学会、電子情報通信学会、日本科学技術振興財団、日本機械学会、日本工学会、日本生物物理学会、日本天文学会、日本物理学会、日本物理教育学会、レーザー学会を団体会員として組織され、そこでさまざまな企画が検討されています。詳細は <http://www.wyp2005.jp/> を参照下さい。

日本天文学会としても、世界物理年日本委員会の活動の一環といたしまして、年会において、相対論と天文学との関わりに焦点をあてた企画を行うこととしました。皆さんからの講演を中心に行う企画セッションに加え、ここでは 3 つの特別講演を中心とした特別セッションを開催いたします。アインシュタインと宇宙ということで池内氏、重力波やブラックホールということで藤本氏、また相対論とその一般的誤解という視点から松田氏の講演を企画しております。皆様奮ってご参加ください。

プログラム : ○あいさつ 祖父江義明 (日本天文学会理事長、東京大学)

○講演 1 池内 了 (名古屋大学)

○講演 2 藤本真克 (国立天文台)

○講演 3 松田卓也 (神戸大学)

○総合討論

世 話 人 : 杉山 直 (国立天文台)

連 絡 先 : 杉山 直 naoshi@th.nao.ac.jp

春季年会会場（明星大学）のご案内



交通案内

■多摩都市モノレール利用

- (1) JR立川駅→（徒歩3分）→立川南駅→（16分）→中央大学・明星大学駅
- (2) 小田急・京王多摩センター駅→（徒歩3分）→多摩センター駅→（5分）→中央大学・明星大学駅

■京王線利用

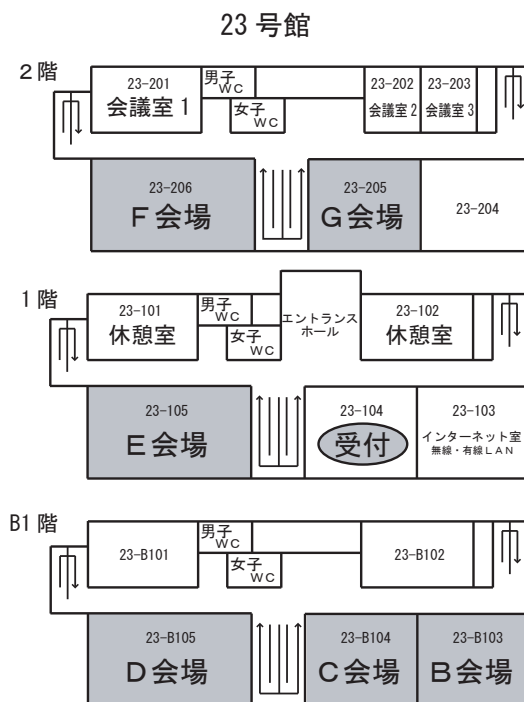
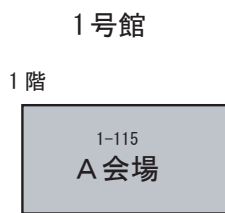
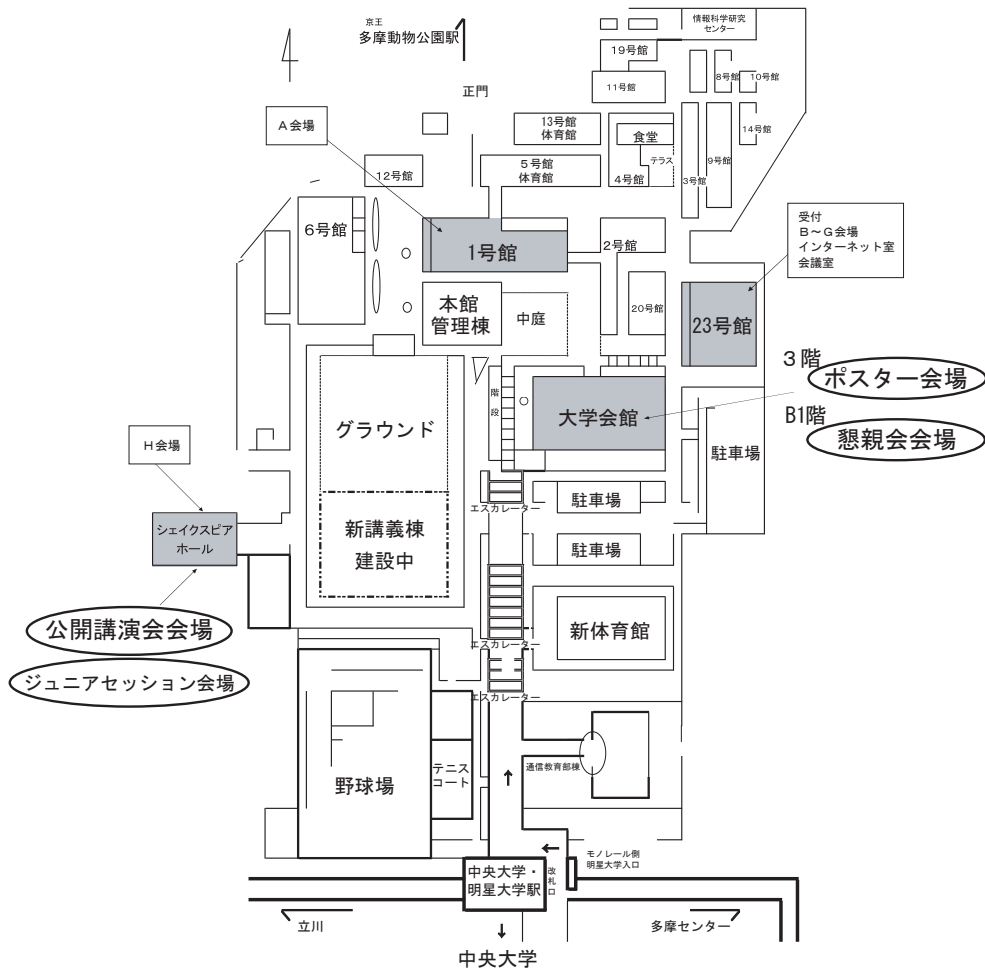
新宿駅→（特急30分）→高幡不動駅→（3分）→多摩動物公園駅
高幡不動で多摩都市モノレール乗り換えも可（徒歩5分）

■多摩都市モノレール「中央大学・明星大学」駅下車5分

駅からはエスカレーター Star wayが利用できます。（徒歩5分）

■京王線「多摩動物公園」駅下車 徒歩13分（急坂）

年会会場案内図 (明星大学日野キャンパス)



口頭セッション 3月28日(月)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	
	【Solar-B】	【太陽系】	【銀河団】	【銀河核】	【高密度天体】	【星・惑星】	【恒 星】	
10:00	B01a) B10a	L01a	T01b - T03b	S01a	H01a	P01a	N01a	
10:12		L02a	T04b - T06b	S03a	H02a	P02a	N02a	
10:24		L03a	T07a	S04a	H03a	P03a	N03a	
10:36		L04a	T08a	S05a	H04a	P04b - P06b	N04a	
10:48		L05b - L07b	T09a	S06a	H05a	P07b - P09b	N05a	
11:00		L09a	T10a	S07a	H06a	P11b - P13b	N06a	
11:12		L10a	T11a	S08b - S10b	H07a	P14b - P16b	N07a	
11:24		L11a	T12a	S11a	H08a	P17b - P19b	N08a	
11:36		L12a	T13a	S12a	H09a	P20b, P21b	N10a	
11:48		L13a	T14a	S13a	H10b - H12b	-	N11a	
12:00		L14b - L16b	T15a	S14a	H13b - H15b	-	N12b - N14b	
12:12		-	T16a	S15a	H18b - H20b	-	-	
12:24		-	T17a	S16a	H21b	-	-	
12:30		昼休み						
13:30		ポスター						
		【Solar-B】	【太陽系/地上観】	【飛翔観】	【銀河核/銀河】	【高密度天体】	【星・惑星】	【恒 星】
14:30	B11a) B28b	L17a	W01a	S17a	H22a	P23a	N18a	
14:42		L18a	W05a	S18a	H23a	P24a	N19a	
14:54		L19b - L21b	W06a	S19a	H24a	P25a	N20a	
15:06		V01a	W07b - W09b	S20a	H25a	P26a	N21a	
15:18		V02a	W10b - W12b	S21a	H26a	P27a	N22a	
15:30		V03b - V05b	W13a	S22a	H27a	P28a	N23a	
15:42		V06b - V08b	W14a	R01a	H28a	P29a	N24a	
15:54		V09b - V11b	W15a	R02a	H29a	P30a	N25a	
16:06		V12b - V14b	W16a	R03a	H30a	P31a	N26a	
16:18		V16b - V18b	W17a	R04a	H31a	P32a	N27b - N29b	
16:30		V19b - V21b	W18a	R05b - R07b	H32a	-	N30b, N31b	
16:42		-	W19b	R08b - R10b	H33a	-	-	
16:54		-	-	R11b	-	-	-	
17:00		天文教育フォーラム						
18:30		ASTRO-F 特別セッション						

口頭セッション 3月29日(火)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【太 陽】	【地上観】	【飛翔観】	【銀 河】	【高密度天体】	【星・惑星】	【教育・他】
09:00	M01a	V22a	W20a	R13a	H34b - H36b	P33a	Y01a
09:12	M02a	V23a	W21a	R14a	H37b - H39b	P34a	Y02a
09:24	M03a	V24a	W22b, W23b, W25b	R15a	H40b, H41b	P35a	Y03a
09:36	M04a	V25a	W26b - W28b	R16a	H43b - H45b	P36a	Y04a
09:48	M05a	V26a	W29b - W31b	R17a	H46b - H48b	P37a	Y05a
10:00	M06a	V27a	W32b - W34b	R19b, R20b, R22b	H49b - H51b	P38a	Y06a
10:12	M07a	V28a	W35b - W37b	R23b - R25b	H54a	P39a	Y07a
10:24	M08a	V29a	W38b - W40b	R26b - R28b	H55a	P40a	Y08a
10:36	M09a	V30b - V32b	W41b, W42b	R31b, R32b, R34b	H56a	-	Y09b - Y11b
10:48	M10a	V33b - V35b	W43a	R36a	H57a	-	Y12b - Y14b
11:00	M11a	-	W44a	R37a	-	-	Y15b, Y16b
11:12	M12b - M14b	-	-	-	-	-	-
11:24	M15b	-	-	-	-	-	-
11:00	ポスター						
12:00	昼休み						
	【太 陽】	【地上観】	【飛翔観】	【銀 河】	【高密度天体】	【星 間】	【宇宙論】
13:00	M17a	V39a	W45a	R38a	H58a	Q01a	U01a
13:12	M18a	V40a	W46a	R39a	H59a	Q02a	U02a
13:24	M19a	V41a	W47b - W49b	R40a	H60a	Q03a	U03a
13:36	M20a	V42a	W50a	R41a	H61a	Q04a	U04a
13:48	M21a	V43a	W51a	R42a	H62a	Q05a	U05a
14:00	M22a	V44a	W52a	R43a	H63a	Q06a	U06a
14:12	M23a	V45a	W53a	R44a	H64a	Q07b - Q09b	U07a
14:24	M24a	V46b, V48b, V49b	W54a	R45a	H65a	Q10b - Q12b	U08a
14:36	M25a	V50b - V52b	W55a	R46a	H66a	Q15b - Q17b	U09b - U11b
14:48	M26a	V53b - V55b	W56a	R47a	H67a	Q18b	U12b, U13b
15:00	総 会						
16:30	受賞記念講演						
18:30	懇親会						

口頭セッション 3月30日(水)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【世界物理】	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】	【高密度天体】	【星間】	【宇宙論】
09:00	A01a ∪ A06a	V57a	W57a	R48a	H68a	Q19a	U18a
09:12		V58a	W58a	R49a	H69a	Q20a	U19a
09:24		V59a	W59a	R50a	H70a	Q21a	U20a
09:36		V60a	W60a	R51a	H71a	Q22a	U21a
09:48		V61a	W61a	R52a	H72a	Q23a	U22a
10:00		V62b - V64b	W62a	R53a	H73a	Q24a	U23a
10:12		V65b - V67b	W63a	R54a	H74a	Q25a	-
10:24		V68b - V70b	W64a	R55a	H75a	Q26a	-
10:36		V71b - V73b	W65a	R56a	H76a	Q27a	-
10:48		V74b, V75b	W66a	R57a	H77a	-	-
11:00	-	W67a	-	H78a	-	-	
11:00	ポスター						
12:00	昼休み						
	【世界物理】	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】		【星間】	
13:00	A07a ∪ A12a	V77a	W68a	R58a	-	Q28a	-
13:12		V78a	W70a	R59a	-	Q29a	-
13:24		V79a	W71a	R60a	-	Q30a	-
13:36		V80a	W72a	R61a	-	Q31a	-
13:48		V81a	W73a	-	-	Q32a	-
14:00		V82a	W74a	-	-	Q33a	-
14:12		V83a	W75a	-	-	Q34a	-
14:24		V84a	-	-	-	Q35a	-
14:36		V85a	-	-	-	Q36a	-
14:48		V86a	-	-	-	-	-
15:00	世界物理年 特別セッション						

ポスターセッション 3月28日(月) ~ 3月30日(水)

【世界物理】(2)					【銀河団】(7)				
A13c	A14c				T01b	T02b	T03b	T04b	T05b
【Solar-B】(5)					T06b	T18c			
B24b	B25b	B26b	B27b	B28b	【宇宙論】(9)				
【高密度天体】(32)					U09b	U10b	U11b	U12b	U13b
H10b	H11b	H12b	H13b	H14b	U14c	U15c	U16c	U17c	
H15b	H16c	H17c	H18b	H19b	【地上観測機器】(55)				
H20b	H21b	H34b	H35b	H36b	V03b	V04b	V05b	V06b	V07b
H37b	H38b	H39b	H40b	H41b	V08b	V09b	V10b	V11b	V12b
H42c	H43b	H44b	H45b	H46b	V13b	V14b	V15c	V16b	V17b
H47b	H48b	H49b	H50b	H51b	V18b	V19b	V20b	V21b	V30b
H52c	H53c				V31b	V32b	V33b	V34b	V35b
【太陽系】(10)					V36c	V37c	V38c	V46b	V47c
L05b	L06b	L07b	L08c	L14b	V48b	V49b	V50b	V51b	V52b
L15b	L16b	L19b	L20b	L21b	V53b	V54b	V55b	V56c	V62b
【太陽】(5)					V63b	V64b	V65b	V66b	V67b
M12b	M13b	M14b	M15b	M16c	V68b	V69b	V70b	V71b	V72b
【恒星】(14)					V73b	V74b	V75b	V76c	V87c
N09c	N12b	N13b	N14b	N15c	【飛行体観測機器】(35)				
N16c	N17c	N27b	N28b	N29b	W02c	W03c	W04c	W07b	W08b
N30b	N31b	N32c	N33c		W09b	W10b	W11b	W12b	W19b
【星・惑星形成】(19)					W22b	W23b	W24c	W25b	W26b
P04b	P05b	P06b	P07b	P08b	W27b	W28b	W29b	W30b	W31b
P09b	P10c	P11b	P12b	P13b	W32b	W33b	W34b	W35b	W36b
P14b	P15b	P16b	P17b	P18b	W37b	W38b	W39b	W40b	W41b
P19b	P20b	P21b	P22c		W42b	W47b	W48b	W49b	W69c
【星間現象】(12)					【天文教育・他】(11)				
Q07b	Q08b	Q09b	Q10b	Q11b	Y09b	Y10b	Y11b	Y12b	Y13b
Q12b	Q13c	Q14c	Q15b	Q16b	Y14b	Y15b	Y16b	Y17c	Y18c
Q17b	Q18b				Y19c				
【銀河】(26)					【ジュニアセッション】(25)				
R05b	R06b	R07b	R08b	R09b	【PDL】				
R10b	R11b	R12c	R18c	R19b	【最新情報コーナー】				
R20b	R21c	R22b	R23b	R24b	【展示コーナー】				
R25b	R26b	R27b	R28b	R29c	ジクー・データシステムズ株式会社				
R30c	R31b	R32b	R33c	R34b					
R35c									
【活動銀河核】(4)									
S02c	S08b	S09b	S10b						

A. 世界物理年特別企画
アインシュタイン 100 年：相対論と天文学

B.Solar-B 衛星と新しい太陽プラズマ物理学

3 月 30 日 (水) 午前・A 会場	3 月 28 日 (月) 午前・A 会場
09:00 A01a 相対論と高エネルギー天体現象 長滝重博 (京都大学)	10:00 B01a Solar-B 衛星と太陽物理学の新展開 常田佐久 (国立天文台)
09:30 A02a ブラックホールの影の観測と強重力場での一般相対論的效果 高橋芳太 (京都大学)	10:20 B02a Solar-B 可視光望遠鏡フライトモデルの完成 一本 潔 (国立天文台)
09:45 A03a ブラックホール磁気圏とブラックホール回転エネルギー抽出機構 高橋真聡 (愛知教育大学)	10:30 B03a Solar-B 衛星搭載 X 線望遠鏡 (XRT) の概要 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
10:00 A04a 高エネルギー宇宙線 森 正樹 (東京大学)	10:40 B04a Solar-B EUV Imaging Spectrometer (EUV 撮像分光装置) 原 弘久 (国立天文台)
10:30 A05a CALET による高エネルギー宇宙線電子、ガンマ線観測計画 吉田健二 (神奈川大学)	10:50 B05r 宇宙大規模プラズマと太陽コロナの比較研究 牧島一夫 (東京大学/理化学研究所)
10:45 A06a 超新星からの高エネルギーニュートリノ 安藤真一郎 (東京大学)	11:10 B06a 磁気圏での高エネルギー粒子加速と太陽フレア 星野真弘 (東京大学)
3 月 30 日 (水) 午後・A 会場	
13:00 A07a 重力崩壊とブラックホール形成 柴田 大 (東京大学)	11:30 B07a 磁力管合体における磁気ヘリシティ保存性に関する実験的検証 小野 靖 (東京大学)
13:30 A08a 非対称超新星爆発と相対論 固武 慶 (東京大学)	11:50 B08a 自発的高速磁気リコネクションモデルとフレアの 3 次元構造 鵜飼正行 (愛媛大学)
13:45 A09a 重力波検出器 (TAMA300) の現状 辰巳大輔 (国立天文台)	12:10 B09a 局所的日震学：速度場データと輝度データとの比較 関井 隆 (国立天文台)
14:00 A10a 相対論と観測的宇宙論 松原隆彦 (名古屋大学)	12:20 B10a Solar-B 観測データに基づく太陽フレアの実データシミュレーション：課題と展望 草野完也 (地球シミュレータセンター)
14:30 A11a Sloan Digital Sky Survey における重力レンズクエーサーの探索 稲田直久 (東京大学)	
14:45 A12a 一般相対論と超高精度位置天文学 福島登志夫 (国立天文台)	
A13c 磁場による中性子星の固有速度 澤井秀朋 (早稲田大学)	
A14c 磁場入りの proto-neutron star wind 伊藤裕貴 (早稲田大学)	

3月28日(月) 午後・A会場	
14:30	B11a 浮上磁場のレイリー・テイラー不安定とパッチ状リコネクション 磯部洋明 (京都大学)
14:40	B12a Solar-B によるリコネクションモデルの検証1 ~ inflow について 成影典之 (京都大学)
14:50	B13a Solar-B によるリコネクションモデルの検証2 ~ slow shock について 塩田大幸 (京都大学)
15:00	B14a Solar-B による自己相似リコネクション・モデルの検証 新田伸也 (総合研究大学院大学 / 葉山高等研究センター)
15:10	B15a Solar-B とマイクロフレア研究: コロナと光球の磁気的カップリング 清水敏文 (国立天文台)
15:20	B16a コロナ加熱解明の鍵を握る光球の微細磁場構造 勝川行雄 (国立天文台)
15:30	B17a コロナ加熱、太陽風加速における、波動の役割の定量的調査 鈴木 建 (京都大学)
15:40	B18a 活動領域の太陽コロナの温度構造 鹿野良平 (国立天文台)
15:50	B19a 準定常コロナループの空間分布と熱的発展、加熱機構 永田伸一 (京都大学)
16:00	B20a Solar-B 衛星による太陽ジェット現象の観測 下条圭美 (国立天文台)
16:10	B21a Solar-B/EIS observations of EUV blinkers Brooks, D. H. (京都大学)
16:20	B22a Observations of magnetic field reconnection at the base of EFR surges 黒河宏企 (京都大学)
16:30	B23a Solar-B による太陽彩層ダイナミクス・加熱機構の解明 末松芳法 (国立天文台)
16:40	B24b Solar-B/EIS high-cadence observation of chromospheric evaporation 神尾 精 (京都大学)
16:43	B25b 下降流 (Downflow) の観測と磁気リコネクション 浅井 歩 (国立天文台)
16:46	B26b 磁気リコネクションに伴って発生する波動の Solar-B 衛星観測への展望 横山央明 (東京大学)
16:49	B27b Study of causal relation between the evolution of magnetic non-potentiality in sunspot regions and occurrence of solar eruptive events Dun, Jinping (京都大学)
16:52	B28b Observation of the interaction between counter-helical fluxes on the sun Liu Yu (Kyoto University)

H. 高密度天体

3月28日(月) 午前・E会場			
10:00	H01a HETE-2 衛星の観測運用状況 – 2004 年秋から現在まで 吉田篤正 (青山学院大学)	11:48	H11b HETE-2 衛星による軟ガンマ線リピータの観測 (2) 中川友進 (青山学院大学)
10:12	H02a HETE-2 衛星が捉えたガンマ線バーストの X 線アクティビティ 中川友進 (青山学院大学)	11:48	H12b RIMOTS による GRB041006 可視光残光の早期観測 園田絵里 (宮崎大学)
10:24	H03a HETE-2 衛星、BeppoSAX 衛星によるガンマ線バーストの本体と可視光残光の関係 鈴木素子 (東京工業大学)	12:00	H13b すばる望遠鏡 による XRF 040916 残光の観測 河合誠之 (東京工業大学)
10:36	H04a GRB041018 : バースト直後の BVRc 撮像と残光の発見 鳥居研一 (大阪大学)	12:00	H14b Short GRB 040924 の可視光追跡観測 浦田裕次 (理化学研究所 / 東工大)
10:48	H05a 重力崩壊型超新星爆発で生成されるジェットの親星中の伝搬 水田 晃 (京都大学)	12:00	H15b GRB030328 のプロンプト放射から afterglow への遷移過程の観測的研究 石川信行 (青山学院大学)
11:00	H06a ガンマ線バーストから超高エネルギー宇宙線は飛んでくるか? 浅野勝晃 (国立天文台)		H16c ぐんま天文台における GRB041006 の可視光、および赤外線観測 衣笠健三 (ぐんま天文台)
11:12	H07a Collasar モデルに基づく回転大質量星重力崩壊の 2 次元磁気流体数値実験 藤本信一郎 (熊本電波高専)		H17c 画像差引法による GRB041015 の残光の探索 高妻真次郎 (九州大学)
11:24	H08a ニュートリノ輸送を考慮した Pop III 大質量星の重力崩壊 中里健一郎 (早稲田大学)	12:12	H18b 宇宙ガンマ線バーストの地球電離層への影響 前田耕一郎 (兵庫医科大学)
11:36	H09a 大質量回転星コアの重力崩壊に伴う中性子星・ブラックホールの形成及び重力波放出 関口雄一郎 (東京大学)	12:12	H19b NGC 4038 に出現した lb 型超新星 2004gt の親星 山岡 均 (九州大学)
11:48	H10b HETE-2 衛星による GRB020813 の観測 (2) 佐藤理江 (東京工業大学)	12:12	H20b 回転を加味した Steady-Burning による Ia 型超新星の母天体モデル 上西達大 (東京大学)
		12:24	H21b 超新星爆発の MHD 計算と高密度天体の形成・r-process 西村信哉 (九州大学)

3月28日(月) 午後・E会場		3月29日(火) 午前・E会場	
14:30	H22a 極超新星 1998bw, 2003jd の二次元後期スペクトルモデル 前田啓一 (東京大学)	16:42	H33a 最新のストレンジネス核物理に基づく状態方程式テーブル 石塚知香子 (北海道大学)
14:42	H23a Ia型超新星の非球対称爆発モデル: Deflagration-Detonation Transition at a Point 田中雅臣 (東京大学)	09:00	H34b ブラックホール Very High State に対するコンプトン散乱を考慮した解釈の普遍性 深沢泰司 (広島大学)
14:54	H24a 非等方ニュートリノ輻射を伴う超新星爆発の重力崩壊 2次元数値シミュレーション 間所秀樹 (理化学研究所)	09:00	H35b ブラックホール候補星 4U 1630-47 のタイミング解析 須藤敬輔 (立教大学)
15:06	H25a 重力崩壊型超新星爆発の衝撃波とニュートリノ振動 川越至桜 (東京理科大学)	09:00	H36b 近傍銀河の大光度 X 線源に附随する星雲からの蛍光輝線の探査 宮脇良平 (東京大学)
15:18	H26a 相対論的 2次元 PPM コードを用いた非球対称な Ic 型超新星爆発の解析 中村 航 (東京大学)	09:12	H37b XMM-Newton 衛星で探る SS433 のジェット周辺のプラズマ構造 久保田香織 (東京工業大学)
15:30	H27a 強磁場超新星の非対称爆発とパルサーキック 滝脇知也 (東京大学)	09:12	H38b 熱的不安定中の降着円盤はどう見えるか? 川田明寛 (大阪教育大学)
15:42	H28a 球対称モデルでの Ia 型超新星残骸中のイオンの分布と Fe I による吸収 尾崎 仁 (東京大学)	09:12	H39b 超臨界降着流の 2次元輻射流体モデル: スリムディスクを超えて 大須賀 健 (立教大学)
15:54	H29a 超新星ニュートリノ風における低質量数 r 過程および p 過程元素合成 和南城伸也 (上智大学)	09:24	H40b 磁気リコネクションによるコロナ加熱を考慮した降着円盤からの鉄輝線放射 川中宣太 (京都大学)
16:06	H30a 非等方ニュートリノ輻射を伴う超新星爆発における r プロセス元素合成 望月優子 (理化学研究所)	09:24	H41b MHD 数値実験に基づく降着円盤の大局的磁場構造の予測 町田真美 (国立天文台)
16:18	H31a 極端な金属欠乏星の元素組成と種族 III 超新星の爆発エネルギー 富永 望 (東京大学)		H42c X線連星パルサーからの鉄輝線の起源 幸村孝由 (工学院大学)
16:30	H32a 種族 III 大質量星における Na・Al の合成と金属欠乏星の元素組成 岩本信之 (日本原子力研究所)		

09:36	H43b パルサー磁気圏における電子・陽電子ペア生成の効果の粒子シミュレーションによる研究 和田智秀 (山形大学)	H53c とも座新星 2004=V574 Pup の CCD 観測 清田誠一郎 (VSOLJ)	
09:36	H44b コンパクト天体周辺の非平衡プラズマにおける輝線の時間発展について 杉山慎也 (大阪大学)	10:12 H54a スーパーハンプ周期変化から見える矮新星降着円盤の時間進化 植村 誠 (京都大学)	
09:36	H45b The New Pulsating White Dwarf Stars from the Sloan Digital Sky Survey 新田敦子 (Apache Point Observatory, NM, U.S.A.)	10:24 H55a ヘリウム矮新星 2003aw の特異なスーパーアウトバースト 野上大作 (京都大学)	
09:48	H46b 短周期 SU UMa 型矮新星の superoutburst (1) ASAS 153616-083907 今田 明 (京都大学)	10:36 H56a XMM-Newton を用いた AE Aqr での Magnetic Propeller Effect の検証 伊藤 啓 (宇宙航空研究開発機構)	
09:48	H47b 短周期 SU UMa 型矮新星の superoutburst (2) Var Her 04 今田 明 (京都大学)	10:48 H57a Pop III 連星系における伴星超新星爆発による主星ガス円盤への力学的影響 佐藤潤一 (筑波大学)	
09:48	H48b 短周期 SU UMa 型矮新星の superoutburst (3) ASAS 002511+121712 今田 明 (京都大学)	3月29日(火) 午後・E会場	
10:00	H49b 激変星 GK Persei の 2004 年 outburst 期における CCD 測光観測 田辺健茲 (岡山理科大学)	13:00 H58a 「すばる」望遠鏡を用いた M81 銀河の ULX X-11 の光学対応天体の観測 久保田あや (理化学研究所)	
10:00	H50b 矮新星 BC UMa の "early superhump" の観測と数値シミュレーション 前原裕之 (東京大学)	13:12 H59a ULX が Pop III star 起源の中質量 BH である可能性について 三井晴可 (京都大学)	
10:00	H51b 新しい SU UMa 型矮新星 V2527 Oph と AX Cap の発見と観測 植村 誠 (京都大学)	13:24 H60a 星の暴走的合体による中間質量ブラックホールの形成とガンマ線バースト、超高光度 X 線源の関係 戎崎俊一 (理化学研究所)	
	H52c 矮新星 WX Ceti の 2004 年 superoutburst における CCD 測光観測 田口泰基 (岡山理科大学)	13:36 H61a 2次元輻射流体計算による降着円盤の熱的不安定と準周期的時間変動 大須賀 健 (立教大学)	
		13:48 H62a アウトフローの効果を含めた現象論的降着流モデル 渡会兼也 (大阪教育大学)	

14:00	H63a 超臨界降着円盤の軸上ジェット：終末速度 - 円盤光度関係 福江 純 (大阪教育大学)	10:00	H73a 離心率の大きな Be/X 線連星における一時的な降着円盤と周期的 X 線アウトバースト 岡崎敦男 (北海学園大工)
14:12	H64a 高密度、高温物質のブラックホールへの降着 横沢正芳 (茨城大学)	10:12	H74a 中性子 X 線星でのバーストに伴う準周期振動 加藤正二 (奈良産業大学)
14:24	H65a 降着円盤から噴出するジェット中で成長するキック不安定性の 3 次元 MHD 数値実験 桑原匠史 (情報通信研究機構)	10:24	H75a 相対論的電子・陽電子プラズマシートにおける磁場の拡散過程 銭谷誠司 (東京大学)
14:36	H66a HLL 法に基づいた相対論的 MHD コードの開発 浅野栄治 (千葉大学)	10:36	H76a 電子 - 陽電子プラズマ中での相対論的無衝突衝撃波の発生 永田健太郎 (大阪大学)
14:48	H67a 相対論的磁気リコネクションの 2 次元 MHD 数値シミュレーション 渡邊直之 (東京大学)	10:48	H77a 原始中性子星における磁気流体的不安定性 政田洋平 (大阪大学)
3 月 30 日 (水) 午前・E 会場			
09:00	H68a X 線を用いた弱磁場中性子星への質量降着流の研究 高橋弘充 (東京大学)	11:00	H78a 超新星残骸に伴う衝撃波の大振幅磁場構造と高エネルギー粒子 島田延枝 (情報通信研究機構)
09:12	H69a X 線パルサーのサイクロトロン線のエネルギー比と磁場の分布 西村 治 (国立長野高専)		
09:24	H70a Anomalous X-ray Pulsar 4U 0142+61 で見つかった、パルス波形の変化を伴うグリッチ 森井幹雄 (宇宙航空研究開発機構)		
09:36	H71a 中性子星の光度曲線 李 うみん (東北大学)		
09:48	H72a Be/X 線連星系における中性子星周囲の降着円盤の長周期進化とその構造 早崎公威 (北海道大学 /Swinburne 工科大学)		

L. 太陽系

3月28日(月) 午前・B会場		3月28日(月) 午後・B会場	
10:00	L01a 2003年夏火星大接近時の火星衛星探査観測 光成智美(福岡教育大学)	11:36	L12a ペルセウス座流星体による月面衝突発光の光度変化 柳澤正久(電気通信大学)
10:12	L02a ベストイドのライトカーブ観測1 長谷川直(宇宙航空研究開発機構)	11:48	L13a On the 2004 Geminid meteor spectrum in visible - ultraviolet region: Extremely Na depletion? 春日敏測(総合研究大学院大学 / 国立天文台)
10:24	L03a 岡山三つ目望遠鏡による小惑星 Kleopatra の微小なカラー変化の検出 黒田大介(総合研究大学院大学)	12:00	L14b 多地点同時観測による2001年しし座流星群永続痕の三次元形状解析 矢動丸泰(みさと天文台)
10:36	L04a 小惑星(25143) Itokawa の軌道進化(III) 吉川真(宇宙航空研究開発機構)	12:00	L15b METRO キャンペーン2004年ペルセウス流星群観測報告 戸田雅之(日本流星研究会)
10:48	L05b 火星南極冠縮小の非対称性の原因について 鳴海泰典(九州東海大学)	12:00	L16b 2004年ふたご座流星群による流星痕の、観測成果とその手法 比嘉義裕(日本流星研究会)
10:48	L06b シンクロトロン電波スペクトル観測による木星放射線帯ダイナミクスの探査 三澤浩昭(東北大学)		
10:48	L07b ベネラ9号及び10号の観測データに基づく金星大気上層煙霧粒子の分布 佐藤靖彦(東京理科大学 / 国立天文台)	14:30	L17a 短周期彗星での結晶質シリケートの発見 一原始太陽系円盤における効率的動径方向物資移送の証拠一 渡部潤一(国立天文台)
	L08c 高速不変埋蔵法を用いた偏光多重散乱計算における源泉項行列の3次多項式近似の効果 川端潔(東京理科大学)	14:42	L18a 彗星の酸素禁制線強度比に基づくCO ₂ /H ₂ O比の推定 古荘玲子(早稲田大学)
11:00	L09a 2001年しし座流星群におけるダストトレイルの構造 菅谷多都子(東京学芸大学)	14:54	L19b 彗星コマの核からの距離による色指数の変化 佐藤千佳(明星大学)
11:12	L10a すばる望遠鏡によるペルセウス/みずがめ座流星群の観測 家正則(国立天文台)	14:54	L20b ニート彗星(C/2001 Q4)の可視及び近赤外高分散分光観測:水およびアンモニアのオルソ/パラ比と核スピン温度 古荘玲子(早稲田大学)
11:24	L11a ペルセウス座流星体による月面衝突発光とダストトレイル内の流星体分布 大西浩次(国立長野高専)	14:54	L21b 彗星塵輻射モデルの改良:彗星コマ中塵粒子の温度とサイズ分布 大坪貴文(名古屋大学)

M. 太陽

3月29日(火) 午前・A会場		3月29日(火) 午後・A会場	
09:00	M01a マイクロ波と硬X線でのプリフレア相の様子 浅井 歩 (国立天文台)	11:12	M12b 浮上しない浮上磁場のシミュレーション - 平山氏の疑問に答えます - 野澤 恵 (茨城大学)
09:12	M02a 彩層底部の加熱とフレアの発生 斉藤祥行 (京都大学)	11:12	M13b 何が磁気リコネクションの起こる高さを決めているか? 高橋邦生 (総合研究大学院大学)
09:24	M03a 光球面磁場とフレア規模の関係 山本哲也 (東京大学 / 国立天文台)	11:12	M14b 野辺山ヘリオグラフ画像を用いたシグモイド質量の解析 並木優子 (総合研究大学院大学)
09:36	M04a 太陽磁気リコネクションの二次元計算の詳細な解析 (テスト粒子を加えて) 野澤 恵 (茨城大学)	11:24	M15b 多波長観測から明らかとなる黒点上空コロナの温度構造 勝川行雄 (国立天文台)
09:48	M05a 彩層下で励起された波動による低温ジェット発生の3次元MHD数値計算 宮腰剛広 (京都大学)		M16c マウンダー極小期における太陽の磁場反転周期 宮原ひろ子 (名古屋大学)
10:00	M06a 浮上磁気チューブとコロナアーケード磁場との3次元リコネクション 能登谷 瞬 (東京大学)		
10:12	M07a リコネクションレートを決める要因は何か? 西田圭佑 (京都大学)	13:00	M17a 京都大学 飛騨天文台 太陽磁場活動望遠鏡 (SMART) による活動領域 NOAA 10656 の観測 石井貴子 (京都大学)
10:24	M08a 電流シートの形成機構 柴崎清登 (国立天文台)	13:12	M18a Automatic Detection of Dynamic H α Dark Features from Hida/FMT Four-wavelength Images Liu Yu (Kyoto University)
10:36	M09a 硬X線フレアにおける非熱的電子の物理量の推定とその依存性について 簗島 敬 (東京大学)	13:24	M19a Hel 10830 Å における活動現象の観測 鈴木大輔 (川口市立科学館)
10:48	M10a 太陽粒子線とフレアにおける Impulsive, Gradual 型の分類は同等か? 大木健一郎 (早稲田大学)	13:36	M20a 活動領域 NOAA8227 の黒点周辺における pore と輝点の解析 北越康敬 (東京大学)
11:00	M11a Solar neutron events associated with large solar flares in solar cycle 23 渡邊恭子 (名古屋大学)	13:48	M21a 反対極性の磁極の衝突領域の磁場、速度場の特徴 久保雅仁 (東京大学)

N. 恒星

		3月28日(月) 午前・G会場	
14:00	M22a 飛騨天文台 SMART を用いた短命双極磁場領域の研究 森本太郎 (京都大学)	10:00	N01a 超金属欠乏星内部における物質混合過程 須田拓馬 (北海道大学)
14:12	M23a CallK 線スペクトルによるコロナ X 線輝点下の彩層診断 III. 渡邊鉄哉 (国立天文台)	10:12	N02a 超金属欠乏星内部における中性子捕獲反応過程 II 西村高德 (北海道大学)
14:24	M24a 南北両半球の活動領域をつなぐ大規模磁気ループの形成メカニズムについて 横山正樹 (名古屋大学)	10:24	N03a 超金属欠乏星における炭素星ミステリー 藤本正行 (北海道大学)
14:36	M25a ラジアルな IMF が長時間継続する現象の統計的解析 亘 慎一 (情報通信研究機構)	10:36	N04a すばる高分散分光器による超低金属星の化学組成解析 I. 初期成果の概要 青木和光 (国立天文台)
14:48	M26a 惑星間空間衝撃波予報システムの検証 小川智也 (情報通信研究機構)	10:48	N05a HD122563 の UV 観測による r プロセス元素の研究 本田敏志 (国立天文台)
		11:00	N06a 銀河系初期に記された第 2 の r 過程の元素合成 石丸友里 (お茶の水女子大学)
		11:12	N07a 銀河系の硫黄と亜鉛の化学進化 (I) : 大気パラメータの一致性 勝亦優大 (東海大学)
		11:24	N08a 銀河系の硫黄と亜鉛の化学進化 (II) : 円盤星組成の一致性 比田井昌英 (東海大学)
			N09c HD189322 の元素組成解析 寺尾寿人 (東海大学)
		11:36	N10a Specific angular momentum loss from a close binary system caused by stellar wind Begum, Jahanara (Kobe University)
		11:48	N11a 輻射駆動型星風降着と円盤形成 3 次元数値シミュレーション 光本 恵 (神戸大学)
		12:00	N12b 早期型星の X 線スペクトル線解析 山本則正 (立教大学)

12:00	N13b V4641Sgr の 2004 年における 静穏時の Rc バンド測光観測 新井 彰 (大阪教育大学)	15:30	N23a 半規則型変光星、VX Sgr の SiO レーザーの時間変化 蒲原龍一 (鹿児島大学)
12:00	N14b Observation of Nonradial Pulsations in Zeta Ophiuchi with Gunma Astrophysical Observatory Echelle Spectrograph (GAOES) 神戸栄治 (防衛大学校)	15:42	N24a Oxygen-rich AGB 星周での dust 形成と構造 II 保田悠紀 (北海道大学)
	N15c オリオン A 分子雲 L1641 領域の輝線星 V988 Ori の X 線フレアの検出 小澤秀樹 (Laboratoire d'Astrophysique de Grenoble)	15:54	N25a 星周エンベロープを伴う連星の理論散乱モデル 磯貝瑞希 (東京大学)
	N16c 接触連星 AQ Psc の測光観測 山崎篤磨 (防衛大学校)	16:06	N26a 表面金属汚染された低質量星の進化の特徴 勝田 豊 (北海道大学)
	N17c XMM-Newton 衛星による 2003 年 η Carinae X 線極小期の観測 II 濱口健二 (NASA/GSFC)	16:18	N27b 惑星状星雲 NGC 6572 の高分散分光観測 大塚雅昭 (国立天文台)
3 月 28 日 (月) 午後・G 会場			
14:30	N18a 恒星断熱振動の双極子モードの分類について 高田将郎 (東京大学)	16:18	N28b AGB 星及びその星周における偏光特性の周期変動 長 俊成 (東北大学)
14:42	N19a HIPPARCOS SPBs の高分散分光観測 (2) 増田盛治 (国立天文台)	16:18	N29b ASTE3 色ボロメータによる η Car の低温ガスの観測 新井敬朗 (東京大学)
14:54	N20a Chandra 衛星による惑星状星雲からの X 線放射の観測 (2) 村島未生 (東京大学)	16:30	N30b 歴史的星表における恒星のスペクトル型・光度階級毎の等級変化 藤原智子 (九州大学)
15:06	N21a 近赤外狭帯域フィルターを用いた新しい炭素星探査法の構築 藤井高宏 (国立天文台)	16:30	N31b 銀河面反中心方向における炭素星サーベイ 福土比奈子 (東京大学)
15:18	N22a 褐色矮星の大気構造とその観測特性 XIV. L' M' バンド領域を含む赤外分光・測光特性 辻 隆 (東京大学)		N32c II 型超新星 2004et の BVRI4 バンドの測光観測 定金晃三 (大阪教育大学)
			N33c 進化した星の振動パワースペクトルの特徴 安藤裕康 (国立天文台)

P. 星・惑星形成

3月28日(月) 午前・F会場	
10:00	P01a ミリ波干渉計を用いた中質量原始星候補天体のダスト連続波観測 高橋智子 (総合研究大学院大学)
10:12	P02a へびつかい座 ρ 分子雲の光度及び質量関数 石原明香 (東京大学)
10:24	P03a 原始星 L1448C の野辺山 45m 鏡と NMA による分子輝線観測 黒野泰隆 (東京大学)
10:36	P04b ASTE 3色ボロメータによる大質量星形成領域の連続波観測 岡庭高志 (東邦大学)
10:36	P05b ASTE を用いたカーリーナ腕における大質量コールドコアの無バイアス探査 米倉覚則 (大阪府立大学)
10:36	P06b ASTE によるカメレオン座原始星/YSO 密集領域の観測 平松正顕 (東京大学)
10:48	P07b IC1396A 分子雲における空洞部と星形成 仲野 誠 (大分大学)
10:48	P08b W5 に付随する Bright Rimmed Cloud の近赤外・ミリ波観測 福田尚也 (岡山理科大学)
10:48	P09b オリオン座星形成領域における近赤外変光観測 日下部展彦 (東京学芸大学)
	P10c Sub-arcsecond structure of the physical relation of source I to IRc2 in the Orion BN/KL region 奥村真一郎 (宇宙航空研究開発機構)
11:00	P11b 広視野グリズム分光撮像装置 (WFGS2) による星形成領域の観測 杉谷光司 (名古屋市立大学)
11:00	P12b 暗い標準星の中間赤外線分光観測による標準星ネットワークの検証 石原大助 (東京大学)
11:00	P13b V1647 Ori and Mcneil's Nebula の測光 勝浦真弓子 (大阪教育大学)
11:12	P14b $H^{13}CO^+$ および $HC^{18}O^+$ による Barnard 68 中心部の観測 中里 剛 (国立天文台)
11:12	P15b NMA と 45m 望遠鏡を用いた FU Ori 型天体 PP 13S の星周ガス構造の詳細観測 塚越 崇 (東京工業大学)
11:12	P16b 周連星系円盤の二重バナナ構造は永年摂動効果で説明できるか? 今枝佑輔 (神戸大学)
11:24	P17b 星生成領域における星の質量と X 線プロパティの相関 岩本宙礼 (中央大学)
11:24	P18b 高分解能 X 線分光を用いた T タウリ型星における X 線フレアの解明 鬼形 愛 (中央大学)
11:24	P19b 衝撃波加熱によるコンドリュール内部温度の非一様性:ダスト回転の効果 保田誠司 (筑波大学)
11:36	P20b 原始惑星系円盤内ダスト層でのシアー不安定性開始後のダスト密度分布 石津尚喜 (国立天文台)
11:36	P21b 岡山プラネットサーチプロジェクト「G 型巨星の惑星探し」: 2004 年の観測成果報告 佐藤文衛 (神戸大学)
	P22c G 型巨星における惑星系の日韓共同探査 .I 泉浦秀行 (国立天文台)

3月28日(月) 午後・F会場	3月29日(火) 午前・F会場
14:30 P23a 乱流状態にある磁気雲から形成される分子雲コアの性質について 中村文隆 (新潟大学)	09:00 P33a 低質量の若い星の周りのシリケートダストサイズ進化 本田充彦 (東京大学)
14:42 P24a 電離、解離領域の伝播と誘発的星形成 - 周囲の密度と中心星光度の依存性 - 細川隆史 (京都大学)	09:12 P34a 微惑星の形成過程 (2) : 乱流の中の塵粒子の運動 道越秀吾 (京都大学)
14:54 P25a 原始星形成 : 磁場と回転が平行 / 垂直になる場合 町田正博 (千葉大学)	09:24 P35a ダスト円盤とガス円盤の寿命の差 竹内 拓 (神戸大学)
15:06 P26a ガス降着する周連星円盤の振動と質量降着率の時間変動 花輪知幸 (千葉大学)	09:36 P36a 動径方向の移動を考慮した原始惑星形成 小南淳子 (東京工業大学)
15:18 P27a すばる -IRCS による クラス I YSO の高分散分光 高見道弘 (国立天文台)	09:48 P37a 原始惑星から地球型惑星へ 小久保英一郎 (国立天文台)
15:30 P28a 原始星段階における原始惑星系円盤内縁部の構造 中里 剛 (国立天文台)	10:00 P38a 系外惑星系における仮想地球型惑星の軌道安定性 大日方 誠 (東京工業大学)
15:42 P29a Long-term X-ray variability of pre-main-sequence stars in M42 兵藤義明 (京都大学)	10:12 P39a 永年共鳴の移動に伴う地球型惑星の形成と小惑星の軌道進化 長沢真樹子 (カリフォルニア大学 Lick 天文台)
15:54 P30a X線フレアに伴う原始惑星系円盤表面での衝撃波生成 中本泰史 (筑波大学)	10:24 P40a 系外惑星系 TrES-1 における Ros-siter 効果の検出可能性とその観測意義 成田憲保 (東京大学)
16:06 P31a 原始惑星系円盤表面の衝撃波は見えるか? 三浦 均 (筑波大学)	
16:18 P32a 原始惑星系円盤からの水素分子輝線 II. ダスト粒子成長・沈殿の影響 野村英子 (神戸大学)	

Q. 星間現象

3月29日(火) 午後・F会場	
13:00	Q01a 星間磁場中の超新星残骸の長期的な進化 花山秀和 (東京大学)
13:12	Q02a 宇宙線加速超新星残骸の衝撃波近傍での磁場のエネルギー 山崎 了 (大阪大学)
13:24	Q03a ASCA 銀河面サーベイから見つかった超新星残骸候補 植野 優 (京都大学)
13:36	Q04a あすか銀河面サーベイによる超新星残骸 G344.7 - 0.1 の観測 山内茂雄 (岩手大学)
13:48	Q05a ASTE 及び「なんてん」による SNR G347.3 - 0.5 の CO 観測 森口義明 (名古屋大学)
14:00	Q06a OPTICAL IMAGE OF THE JET POWERED SNR W50 小谷太郎 (東京工業大学)
14:12	Q07b X線天文衛星 <i>Chandra</i> による超新星残骸 Vela Jr. の観測 馬場 彩 (理化学研究所)
14:12	Q08b チャンドラX線天文衛星を用いたカニ星雲の定期観測 森 浩二 (宮崎大学)
14:12	Q09b すばる望遠鏡によるカニ星雲の近赤外観測 山本幹生 (宮崎大学)
14:24	Q10b 銀河系外縁部分子雲 Cloud 2 の CI・CO 観測 齋藤正雄 (国立天文台)
14:24	Q11b DSS に基づく暗黒星雲アトラスおよびカタログのデータベース化 櫻井冬子 (東京学芸大学)
14:24	Q12b 銀河系星間ダストの遠赤外 SED の特性及び LMC, SMC との共通性の発見 日比康詞 (名古屋大学)
	Q13c 気球搭載赤外線望遠鏡 FIRBE による星生成領域の観測的研究 種田 豪 (名古屋大学)
	Q14c 山口 32m による 6.7 GHz メタノール・メーザの強度変動観測 藤沢健太 (山口大学)
14:36	Q15b 電離、解離領域の伝播と誘発的星形成 - 低密度中性ガスへの伝播 - 細川隆史 (京都大学)
14:36	Q16b 弱電離プラズマの熱不安定性に関する考察 福江 翼 (京都大学)
14:36	Q17b 無衝突衝撃波における Weibel 不安定性による磁場生成 加藤恒彦 (国立天文台)
14:48	Q18b flocculent galaxy における星間物質の空間分布の起源に関する考察 新井将丈 (京都大学)

3月30日(水) 午前・F会場		3月30日(水) 午後・F会場	
09:00	Q19a 星間分子イオン HCNH^+ , CH_3CNH^+ , HNN^+ , HCO^+ のサブミリ波スペクトル 高野順平 (茨城大学)	13:00	Q28a 自己重力を考慮した輻射流体力学のゆらぎ 兼古 昇 (北海道大学)
09:12	Q20a 低温におけるオリヴィン微粒子の中間赤外から遠赤外スペクトルの温度効果 II 小池千代枝 (京都薬科大学)	13:12	Q29a 熱的に双安定な星間媒質に於ける低温 HI 雲の成長速度について 長島雅裕 (京都大学)
09:24	Q21a 斜長石結晶の赤外吸収スペクトル 茅原弘毅 (大阪大学 / 京都薬大)	13:24	Q30a いよいよ完成！暗黒星雲の全天カタログ：その概要と使用方法 土橋一仁 (東京学芸大学)
09:36	Q22a 星形成領域における $65\mu\text{m}$ feature の系統的研究 岡田陽子 (東京大学)	13:36	Q31a 輻射輸送計算による暗黒星雲の散乱光の見積もり II 福原和晴 (北海道大学)
09:48	Q23a X線連星 4U1538-522 の食を利用した星間ダストによる X線散乱の研究 吉野友崇 (宇宙航空研究開発機構)	13:48	Q32a Mopra 望遠鏡による銀河系外縁部の ^{12}CO , ^{13}CO 観測 中川真規 (名古屋大学)
10:00	Q24a 銀河の中間赤外における超過放射について 戸倉大輔 (東京大学)	14:00	Q33a 球状星団と銀河ハローの相互作用による広がった X線放射の検出 岡田 祐 (東京大学)
10:12	Q25a 「なんてん」による LMC ^{12}CO サーベイ：巨大分子雲の性質 河村晶子 (名古屋大学)	14:12	Q34a 星形成の静穏期にある不規則矮小銀河のダスト・ガス比と星形成率 小林正和 (京都大学)
10:24	Q26a 「なんてん」による LMC ^{12}CO サーベイ：radio continuum との比較 金井陽子 (名古屋大学)	14:24	Q35a 宇宙初期の星間衝撃波によるダストの破壊 III 野沢貴也 (北海道大学)
10:36	Q27a ASTE によるマゼラン雲の $^{12}\text{CO}(J=3-2)$ 輝線観測 南谷哲宏 (名古屋大学)	14:36	Q36a 星団の離散速度分散から探る原始星団雲の性質 釜谷秀幸 (京都大学)

R. 銀河

3月28日(月) 午後・D会場		3月29日(火) 午前・D会場	
15:42	R01a 1型、2型セイファート銀河における中心核星生成 今西昌俊(国立天文台)	09:00	R13a VERAプロジェクト:ミラ型変光星の周期光度関係 面高俊宏(鹿児島大学)
15:54	R02a IRS13Eは中間質量ブラックホールを持つ星団か? 牧野淳一郎(東京大学)	09:12	R14a VERAによるオリオン座・いっかくじゅう座分子雲複合体のH ₂ Oメーザー源モニター観測(2) 廣田朋也(国立天文台)
16:06	R03a 銀河バルジにおける低質量X線連星系の空間分布と光度関数 森 英之(宇宙航空研究開発機構)	09:24	R15a VERAによるW49N-OH43.8-0.1メーザーペアの試験観測 II 本間希樹(国立天文台)
16:18	R04a 渦状銀河におけるブランチ構造形成のメカニズム 田中 実(千葉大学)	09:36	R16a VERAによるW51Mの相対VLBI観測 官谷幸利(国立天文台)
16:30	R05b 赤外線銀河中のダストに埋もれたAGNの検出 今西昌俊(国立天文台)	09:48	R17a 相対VLBI観測によるミラ型変光星UX Cygniの年周視差測定 倉山智春(東京大学)
16:30	R06b 超高光度赤外線銀河中のAGNの、幅の広い輝線に対して弱いX線放射 今西昌俊(国立天文台)		R18c VERAによる22GHzの水メーザー源サーベイ Oh, Chungsik(東京大学)
16:30	R07b 階層的な円盤銀河形成過程における中間質量ブラックホールの成長 斎藤貴之(国立天文台)	10:00	R19b W3OH水メーザーのVERAによる相対VLBIモニター観測 II 亀谷 収(国立天文台)
16:42	R08b POPIIIブラックホール降着円盤の安定性と観測可能性 内山洋介(立教大学)	10:00	R20b ASTEによる棒渦巻銀河M83のCO(3-2)広域マッピング観測 村岡和幸(東京大学)
16:42	R09b 矮小銀河における球状星団系の力学進化 坂本 強(国立天文台)		R21c 遅いバーパターンスピードの棒渦巻銀河のガスダイナミクス 松井秀徳(北海道大学)
16:42	R10b X線で暗い楕円銀河の高温ガスの重元素アバundance 戸塚 都(広島大学)	10:00	R22b GRB030329母銀河における莫大な量の分子ガスの存在を検証する 遠藤 光(東京大学)
16:54	R11b 銀河系中心分子アーク 坪井昌人(国立天文台)	10:12	R23b Detection of the Spitzer/IRAC-bright LBGs in the GOODS 大内正己(Space Telescope Science Institute)
	R12c Mushroom Structure from a Cloud-Disk Collision 工藤哲洋(University of Western Ontario)		

10:12	R24b $z = 3.5 - 6.2$ における 20,000 個の遠方銀河に基づく高精度クラスタリング解析 大内正己 (Space Telescope Science Institute)	R33c すばる望遠鏡 MOIRCS による近赤外深宇宙探査: GOODS-North 天域における非常に深い撮像観測計画と期待される成果 山田 亨 (国立天文台)	
10:12	R25b Optical Spectroscopy of Lyman Break Galaxies at $z \sim 5$ II 安東正隆 (京都大学)	10:36 R34b PC クラスタ用超低レイテンシ通信ライブラリの開発と N 体計算への応用 似鳥啓吾 (東京大学)	
10:24	R26b ハッブル宇宙望遠鏡後継機 Hubble Origins Probe 衛星「超広視野カメラ」による深宇宙探査: 宇宙の暗黒エネルギー、暗黒物質、銀河形成 山田 亨 (国立天文台)	R35c 天の川実験装置零号機の開発 台坂 博 (国立天文台)	
10:24	R27b $z \sim 7$ ライマン α 銀河探査: すばる主焦点カメラ用狭帯域フィルター試験観測 太田一陽 (東京大学)	10:48 R36a FPGA を用いた再構成可能な計算機による天体物理シミュレーション I 濱田 剛 (理化学研究所)	
10:24	R28b ASTRO-F 北黄極ディープサーベイ領域における BzK 天体について 今井弘二 (総合研究大学院大学)	11:00 R37a FPGA を用いた再構成可能な計算機による天体物理シミュレーション II 中里直人 (理化学研究所)	
	R29c Lyman Break Galaxies at $z \sim 4-5$ in the North Ecliptic Pole Regions 伊原千晶 (東京大学)	3月29日(火) 午後・D会場	
	R30c 階層的構造形成モデルに基づく DLA 銀河の起源と進化 大越克也 (電気通信大学)	13:00 R38a FIRST プロジェクトの概要 梅村雅之 (筑波大学)	
10:36	R31b SSA22 領域における恒星質量に基づく銀河の分布 市川 隆 (東北大学)	13:12 R39a FIRST による格子法輻射流体力学 森 正夫 (専修大学)	
10:36	R32b MOIRCS 試験観測データによる BzK-selected galaxies の評価 田中 壺 (東北大学)	13:24 R40a FIRST による粒子法輻射流体力学 須佐 元 (立教大学)	
		13:36 R41a 巨大水素ガス天体 (ライマン α プロブ) は大質量銀河形成の現場か? 松田有一 (国立天文台 / 東北大学)	
		13:48 R42a SSA22 $z=3.1$ Ly α emitter 大規模構造: 角度 2 体相関の諸性質 山内良亮 (東北大学)	
		14:00 R43a Possible Origin of SSA22 Large-Scale Structure at $z=3.1$ 林野友紀 (東北大学)	

14:12	R44a MOIRCS による SSA22 領域の観測 勝野由夏 (東北大学)	10:12	R54a 矮小銀河サイズサブハローの進化過程 加瀬啓之 (東京大学)
14:24	R45a SSA22a 領域における相関関数の物理的解釈 清水一紘 (筑波大学)	10:24	R55a 球状星団 NGC2419 の RR ライリ型変光星 松永典之 (東京大学)
14:36	R46a 赤方偏移 3-5 における広がった Ly α 輝線天体の系統的探査 斎藤智樹 (東京大学)	10:36	R56a 紫外線輻射場内での球状星団形成 長谷川賢二 (筑波大学)
14:48	R47a すばる及び GOODS による遠方超新星探査から得られる宇宙の星形成史と Ia 型超新星の起源に対する制限 織田岳志 (京都大学)	10:48	R57a 高赤方偏移 Damped Lyman- α System における NaI D 吸収線の初検出 近藤荘平 (東京大学)
3月30日(水) 午前・D会場		3月30日(水) 午後・D会場	
09:00	R48a 静止系可視光スペクトルを用いた MS1512 - cB58 の研究 小野寺仁人 (東京大学)	13:00	R58a 原始銀河雲内衝撃波領域から放射される水素分子輝線 水澤広美 (新潟大学)
09:12	R49a 分光観測から明らかにする楕円銀河の形成と進化 山田善彦 (国立天文台・東京大学)	13:12	R59a 原始高柱密度ガスのガンマ線バースト残光による探査法 平下博之 (名古屋大学)
09:24	R50a E+A 銀河の動径方向および二次元色分布の性質 山内千里 (名古屋大学)	13:24	R60a 早期宇宙再電離期における電離波面の伝播 廣居久美子 (筑波大学)
09:36	R51a ダストで覆われた高赤方偏移にある星形成銀河の化学力学進化 伊吹山秋彦 (東京大学 / 国立天文台)	13:36	R61a 赤外線宇宙背景放射のロケット観測計画: CIBER プロジェクト 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
09:48	R52a 矮小銀河 II Zw40 と He2-10 の中間赤外観測に基づくダストの性質 左近 樹 (東京大学)		
10:00	R53a Hernquist 的密度分布を持った矮小銀河の潮汐進化 出田 誠 (国立天文台)		

S. 活動銀河核

3月28日(月) 午前・D会場		3月28日(月) 午後・D会場	
10:00	S01a ジェットと降着円盤の3次元非軸対称 MHD シミュレーション 木暮宏光 (京都大学)	11:36	S12a Chandra 衛星による電波銀河 Fornax A の中心銀河の観測 伊藤光一 (埼玉大学)
	S02c 活動銀河中心核における超大質量連ブラックホール+2降着円盤モデルー降着円盤の進化と構造 早崎公威 (北海道大学 / Swinburne 工科大学)	11:48	S13a XMM-Newton 衛星による高光度の狭輝線セイファート銀河の観測 松本千穂 (名古屋大学)
10:12	S03a MAGNUM プロジェクト (1) 赤外波長域における AGN の降着円盤とダストーラスの変動成分分解 富田浩行 (東京大学)	12:00	S14a Radio-loud Narrow-line Seyfert 1 の VLBI 初イメージ 土居明広 (東京大学)
10:24	S04a MAGNUM プロジェクト (2) Ia 型超新星を用いたセイファート銀河 Markarian 744 の距離指数測定と dust reverberation 越田進太郎 (東京大学)	12:12	S15a 多周波 VLBI 位相補償観測による 3C 15 の電波コアの検出 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)
10:36	S05a MAGNUM プロジェクト (3) 遠方活動銀河核の可視域における変光 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	12:24	S16a Multi-epoch VSOP observations of 1928+738 Murphy, David (Jet Propulsion Laboratory)
10:48	S06a 超低光度な活動銀河核の数日オーダーでの激しい可視変動フレアの発見 戸谷友則 (京都大学)	3月28日(月) 午後・D会場	
11:00	S07a 活動銀河核のガス降着率は何が決めているか? 川口俊宏 (国立天文台)	14:30	S17a VSOP-2 による水メーザーを利用した降着円盤外縁領域の観測的研究 萩原喜昭 (国立天文台)
11:12	S08b HS1603+3820 に見られる金属吸収線の時間変動と吸収体の諸性質 三澤 透 (ペンシルベニア州立大学)	14:42	S18a テカメータ電波パルス波形観測に基づく銀河系中心部超巨大カーブラックホールのモデル 大家 寛 (福井工業大学)
11:12	S09b 活動銀河核で見られる強度変動のパワースペクトル解析 粟木久光 (愛媛大学)	14:54	S19a 狭輝線アークから探る放射領域のサイズと銀河の密度プロファイル 米原厚憲 (東京大学)
11:12	S10b TeV ブレーザー H1426+428 からの放射と赤外線背景放射による吸収 加藤知弘 (関西学院大学)	15:06	S20a 宇宙ガンマ線背景放射に対するブレーザーの寄与 成本拓朗 (京都大学)
11:24	S11a 電波銀河 Fornax A のローブの Energetics の XMM-Newton による調査 磯部直樹 (宇宙航空研究開発機構)	15:18	S21a 中心集中した爆発的星形成が活動銀河核の遮蔽に及ぼす効果 渡部靖之 (筑波大学)
		15:30	S22a Host galaxies of hard X-ray selected type-2 AGNs/QSOs at $z \sim 0.3$ 木内 学 (京都大学)

T. 銀河団

3月28日(月) 午前・C会場			
10:00	T01b	超音速で運動する銀河団サブクラスタープラズマの磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大学)	11:12 T11a HCG 62 銀河群中心部の温度とアバンドランスの分布 森田うめ代 (東京都立大学)
10:00	T02b	階層的銀河形成モデルを用いた銀河団ガスの重元素組成の解析 長島雅裕 (京都大学)	11:24 T12a XMM-Newton による銀河団 A1674 の X 線観測 (2) 片山晴善 (宇宙航空研究開発機構)
10:00	T03b	XMM-Newton による Abell851 周辺の大規模構造の X 線観測 太田直美 (理化学研究所)	11:36 T13a A2029 銀河団における星、高温ガスおよびダークマターの質量分布 田中伸広 (京都産業大学)
10:12	T04b	銀河団ガスのコア構造：準静水圧平衡での放射冷却 赤堀卓也 (東京都立大学)	11:48 T14a Coma cluster 周辺の Warm-hot 銀河間物質の X 線分光観測 竹井 洋 (宇宙航空研究開発機構)
10:12	T05b	高赤方偏移における大規模構造と原始銀河団 諏訪多聞 (北海道大学)	12:00 T15a ASTRO-E2 による銀河団コアの津波加熱モデルの検証 藤田 裕 (国立天文台)
10:12	T06b	大離角重力レンズ系と NFW プロファイル 川野羊三 (名古屋大学)	12:12 T16a 銀河団におけるスニャーエフ・ゼルドビッチ効果に対する相対論的補正 (観測者の運動による効果) 野澤 智 (城西女子短大)
10:24	T07a	SDSS 銀河及びクエーサーから探るダスト吸収の空間分布 矢幡和浩 (東京大学)	12:24 T17a GRB を背景光源としたダークバリオン吸収線系：DIOS による観測可能性 河原 創 (東京大学)
10:36	T08a	ハッブル宇宙望遠鏡 ACS カメラによる高赤方偏移銀河団サーベイ II： $0 < z < 1$ における形態 - 密度関係、形態 - 半径関係の進化 後藤友嗣 (Johns Hopkins University)	T18c XMM-Newton 衛星による銀河団およびその周辺領域の物質分布の研究 野々山将之 (名古屋大学)
10:48	T09a	すばる望遠鏡による Cold Front 銀河団 A2142 の暗黒物質分布の直接測定 岡部信広 (東北大学)	
11:00	T10a	Chandra/Newton 衛星で見えてきた楕円銀河・銀河群の Universal Mass Profile 深沢泰司 (広島大学)	

U. 宇宙論

3月29日(火) 午後・G会場		3月30日(水) 午前・G会場	
13:00	U01a 宇宙背景輻射による宇宙の非等方性の制限I—マップ再構築法— 井上開輝 (近畿大学)	14:48	U13b 時間減衰宇宙項モデルによる重力レンズ効果の起こる確率 文屋 宏 (東京理科大学)
13:12	U02a 宇宙背景放射による原始ブラックホールおよび初期密度ゆらぎへの制限 田代寛之 (京都大学)		U14c 可変宇宙項による宇宙背景放射への影響 中村理央 (九州大学)
13:24	U03a 宇宙論的初期磁場は宇宙論パラメータになりうるか 山崎 大 (東京大学)		U15c Moving Cluster の効果によるCMB Secondary anistropy 疋田進一 (国立天文台 / 大阪大学)
13:36	U04a Scattering of Gravitational Waves by the Weak Gravitational Fields of Lens Objects 高橋龍一 (国立天文台)		U16c A Statistical Method of Galaxy Clustering for Flux-limited Samples 日影千秋 (名古屋大学)
13:48	U05a 非一様バリオン数生成と重元素合成 松浦俊司 (東京大学)		U17c Cyclic Universe に於ける銀河の見かけの等級とその計数 加藤武昭 (東京理科大学)
14:00	U06a Biermann mechanism による第一世代超新星残骸中の種磁場の生成 高橋慶太郎 (東京大学)		
14:12	U07a Weak Lensing Tomography 高田昌広 (東北大学)	09:00	U18a 宇宙膨張論の検証 (そのIV SDSS 赤方偏移率と等級による宇宙モデルの比較) 阿武靖彦
14:24	U08a 超新星による宇宙膨張の測定と母銀河で減光の影響について 田中陽平 (京都大学)	09:12	U19a 宇宙論スケールでの Newton の重力法則の破れに対する SDSS からの観測的制限 白田晶人 (東京工業大学)
14:36	U09b 膜宇宙モデルでの背景重力波 市来浄興 (東京大学)	09:24	U20a 銀河のナンバーカウントで期待される非等方性について 木戸英治 (東京大学)
14:36	U10b スペース干渉計による宇宙背景重力波の全天マッピング 樽家篤史 (東京大学)	09:36	U21a 大規模構造を考慮した超高エネルギー宇宙線の伝播 高見 一 (東京大学)
14:36	U11b ガンマ線バーストによる早期宇宙再電離 林野友紀 (東北大学)	09:48	U22a 球状星団中の中性子捕獲元素 大槻かおり (Univ. of Chicago)
14:48	U12b SDSS DR3 の銀河分布を最も良く表す統計力学の決定 中道晶香 (ぐんま天文台)	10:00	U23a 検出装置としての地球生命系: GRB 照射史と種族 III 星重元素から人間原理へ 横尾広光 (杏林大学)

V. 地上観測機器

3月28日(月) 午後・B会場			
15:06	V01a ALMA の建設 (2) 長谷川哲夫 (国立天文台)	16:06	V12b ALMA 建設地における風のパワースペクトル 阪本成一 (国立天文台)
15:18	V02a ALMA-ACA 用 FX 相関器の開発 II. 詳細設計 奥村幸子 (国立天文台)	16:06	V13b ALMA サイトに設置した電波シーイングモニタ観測データの解析 石崎秀晴 (国立天文台)
15:30	V03b Atacama Compact Array 建設サイトの選定 森田耕一郎 (国立天文台)	16:06	V14b 遠赤外線-サブミリ波観測のための小惑星を用いたフラックス較正法の構築 関口朋彦 (国立天文台)
15:30	V04b ALMA Band4 受信機用 2mm 帯 OMT の開発 稲田素子 (国立天文台)		V15c ALMA primary calibrator としての小惑星: NMA による Ceres 観測 小野寺幸子 (東京大学)
15:30	V05b ALMA BAND8 カートリッジ受信機的设计・開発 佐藤直久 (国立天文台)	16:18	V16b ALMA バンド 4 受信機光学系のビームパターン測定装置の開発 木村公洋 (大阪府立大学)
15:42	V06b ALMA Band8 受信機 100GHz 帯導波管回路の S パラメータ測定 飯塚吉三 (国立天文台)	16:18	V17b ALMA バンド 4 受信機開発の進捗状況 (III) 小川英夫 (大阪府立大学)
15:42	V07b ALMA Band 8 受信機 Qualification Model RF hybrid & LO coupler の評価 神蔵 護 (東京大学)	16:18	V18b 切削加工による円形 - 正方形変換導波管の開発 鈴木和司 (名古屋大学)
15:42	V08b サブミリ波帯スカラーネットワークアナライザの開発 伊藤哲也 (国立天文台)	16:30	V19b 超広帯域ミリ波サブミリ波ボロメータ干渉計開発の現状 服部 誠 (東北大学)
15:54	V09b サブミリ波受信機における Sideband Ratio 測定法の開発 富村 優 (東京大学)	16:30	V20b ASTE 搭載サブミリ波カメラ極低温電子回路の開発 小林 純 (東邦大学)
15:54	V10b ALMA band 8 受信機のゲイン安定性の評価試験 神庭利彰 (国立天文台) / 三菱電機特機システム)	16:30	V21b 200GHz 帯 2SB 受信機搭載 60cm 電波望遠鏡のマルチライン同時観測 III 中島 拓 (大阪府立大学)
15:54	V11b フォトニックローカルシステムの雑音評価実験 山田真澄 (国立天文台)		

3月29日(火) 午前・B会場		3月29日(火) 午後・B会場	
09:00	V22a ペルーの32mアンテナ計画の進行状況(III) Ishitsuka Jose (国立天文台)	10:48	V34b VERA データ解析用 AIPS パイプラインの開発 今井 裕 (鹿児島大学)
09:12	V23a Application of Field System-FS9 in Radio Astronomy in Peru Vidal, Erick (国立天文台)	10:48	V35b 内之浦 34m VLBI 局の立ち上げ 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)
09:24	V24a 北海道大学 11m 電波望遠鏡による 22 GHz 帯観測 徂徠和夫 (北海道大学)		V36c 山口大学小型電波望遠鏡による 6.7GHz メタノール・メーザ VLBI 実験 田村さやか (山口大学)
09:36	V25a DBBC 機能を持つ VLBI 用 2Gsp/s A/D サンプラの開発 竹内 央 (情報通信研究機構)		V37c 汎用 PC による広帯域デジタル電波分光計の開発 西田和史 (鹿児島大学)
09:48	V26a 光結合 VLBI のイメージング性能評価 須田浩志 (東京大学)		V38c 電波における大気遅延揺らぎと大気安定度との関係 赤崎寿樹 (鹿児島大学)
10:00	V27a アストロメトリの高精度化に向けた光結合測地 VLBI の開発 高羽 浩 (岐阜大学)	3月29日(火) 午後・B会場	
10:12	V28a 光結合 VLBI の観測性能について 川口則幸 (国立天文台)	13:00	V39a 可視広視野サーベイ用ファイバースコープカメラの開発 倉田宗人 (東北大学)
10:24	V29a VERA システムの改良と今後の計画 小林秀行 (国立天文台)	13:12	V40a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト 高見英樹 (国立天文台)
10:36	V30b VERA による IRAS16293-2422 の相対 VLBI モニター観測 中島廣一郎 (鹿児島大学)	13:24	V41a すばる望遠鏡用次期高コントラスト装置の開発 田村元秀 (国立天文台)
10:36	V31b VERA による QSO ペアを用いた位相補償 VLBI 試験観測の結果 - 2 ビーム離角依存性の検証 - 中川垂紀治 (鹿児島大学)	13:36	V42a Next generation High Contrast Imager with Adaptive Optics for the Subaru telescope: Concept and performance evaluation Abe, Lyu (国立天文台)
10:36	V32b 国内大学連携 VLBI 観測網および東アジア VLBI 観測網 小林秀行 (国立天文台)	13:48	V43a MOIRCS : プロジェクトの概要と現況 市川 隆 (東北大学)
10:48	V33b 国内大学連携 VLBI 観測網によるマッピング性能の評価 須藤広志 (岐阜大学)		

14:00	V44a MOIRCS：試験観測データによる光学系結像性能の評価 鈴木竜二（東北大学／国立天文台）	V56c 天体望遠鏡主鏡ヌル検査法の新しい解析 成相恭二（明星大学）
14:12	V45a MOIRCS：観測装置制御システム T-LECS 吉川智裕（東北大学）	3月30日（水）午前・B会場 09:00 V57a TAMA300の現状（15） 高橋竜太郎（国立天文台） 09:12 V58a 宇宙線全天監視 Ashra 実験における GRB 可視閃光観測 野田浩司（東京大学） 09:24 V59a 宇宙研 1.3m ガンマ線バースト観測望遠鏡の検出器性能評価 米徳大輔（金沢大学） 09:36 V60a MOA 新 1.8m 主焦点望遠鏡の性能と期待される成果 神谷浩紀（名古屋大学） 09:48 V61a MOA 新 1.8m 主焦点望遠鏡専用カメラ MOA-Cam3 の製作と性能 さこ隆志（名古屋大学） 10:00 V62b 「三つ目」岡山 50cm 望遠鏡の試験観測 河合誠之（東京工業大学） 10:00 V63b 明野ガンマ線バースト観測用 50cm 望遠鏡の開発 谷津陽一（東京工業大学） 10:00 V64b ガンマ線バースト観測システム「WIDGET」の広視野光学系の性能評価 恩田香織（理化学研究所 / 東京理科大学） 10:12 V65b Miyazaki Wide-field Monitor (MWM) の現状（1） 廿日出 勇（宮崎大学）
14:24	V46b MOIRCS：システム構成と性能 小俣孝司（国立天文台）	
	V47c MOIRCS：検出器駆動システムと性能評価 市川 隆（東北大学）	
14:24	V48b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：589nm 高出力周波レーザーの開発（2） 斉藤嘉彦（国立天文台）	
14:24	V49b すばる LGSAO 用高出力レーザー伝送用ファイバーの SBS 測定 伊藤 周（東京大学）	
14:36	V50b KOOLS：岡山天体物理観測所 188 cm 望遠鏡用低分散分光撮像装置 服部 堯（国立天文台）	
14:36	V51b 広視野グリズム分光撮像装置 (WFGS2) の第 2 回観測と性能評価 上原麻里子（名古屋大学）	
14:36	V52b 高速モジュレーションで精度 10^{-4} を目指す太陽の偏光観測 花岡庸一郎（国立天文台）	
14:48	V53b 完全空乏型 CCD の開発（4） 鎌田有紀子（国立天文台）	
14:48	V54b 自作積分球による冷却 CCD カメラの性能評価 宮坂正大（東京都庁）	
14:48	V55b 中国チベット地域での天文観測サイトの探査 佐々木敏由紀（国立天文台）	

		3月30日(水) 午後・B会場	
10:12	V66b 広島大学 1.5m 望遠鏡計画 III：望遠鏡機能更新、初期観測装置計画 川端弘治 (広島大学)	13:00	V77a 那須パルサー観測所 30m による試験観測 大師堂経明 (早稲田大学)
10:12	V67b 東京学芸大学における中小口径望遠鏡の開発と暗黒星雲の観測的研究 海田正大 (東京学芸大学)	13:12	V78a アタカマ高地に移設された NANTEN2 望遠鏡 大西利和 (名古屋大学)
10:24	V68b 那須パルサー観測所における Johnson-Nyquist Noise を用いた利得キャリブレーション 新沼浩太郎 (早稲田大学)	13:24	V79a NANTEN2 計画：駆動系の更新 (2) 伊藤晋吾 (名古屋大学)
10:24	V69b 早稲田那須観測所フリンジ観測データ自動解析ソフトの開発 国吉雅也 (早稲田大学)	13:36	V80a 45m 鏡での On The Fly マッピングによるライン観測モードの開発 池田紀夫 (総合研究大学院大学)
10:24	V70b 那須観測所 - 早大間セキュアデータ転送システム構築 松村寛夫 (早稲田大学)	13:48	V81a ASTE プロジェクトの現状：本格的なサブミリ波分光観測運用の開始 河野孝太郎 (東京大学)
10:36	V71b NANTEN2 計画：アタカマでの立上げの進捗 水野陽治 (名古屋大学)	14:00	V82a ASTE 800GHz サブミリ波受信機の光学系設計 遠藤 光 (東京大学)
10:36	V72b NANTEN2 計画：主鏡面調整 林 暁子 (名古屋大学)	14:12	V83a ASTE 搭載用カートリッジ型 345GHz 帯受信機の開発と試験観測 II 村岡和幸 (東京大学)
10:36	V73b NANTEN2 計画：駆動系の更新 (3)・アタカマ高地における制御特性の測定 藤下基線 (名古屋大学)	14:24	V84a JVO の研究開発 (全体進捗：データベース国際連携の成功) 大石雅寿 (国立天文台)
10:48	V74b NANTEN2 計画：定在波除去のための円偏波発生器の開発 末岡丈典 (名古屋大学)	14:36	V85a JVO の研究開発 (メタデータ交換の国際対応) 田中昌宏 (国立天文台)
10:48	V75b NANTEN2 計画：バックエンドの開発 川瀬徳一 (名古屋大学)	14:48	V86a JVO の研究開発 (バーチャル天文台に対応したデータサービスの実装) 白崎裕治 (国立天文台)
	V76c NANTEN2 計画：受信器の開発 竹内友岳 (名古屋大学)		V87c JVO の研究開発 (プロトタイプ 3 のデモンストレーション) 川野元 聡 (国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

3月28日(月) 午後・C会場			
14:30	W01a SmartSat-1による宇宙天気ミッションについて 秋岡真樹(情報通信研究機構)	15:30	W13a SPICAによる系外惑星直接検出に向けたコロナグラフの検討 田中深一郎(東京大学)
	W02c 小型衛星を用いた宇宙天気ミッション - MP・WCIの実証実験 - 大高一弘(情報通信研究機構)	15:42	W14a Michelson天体干渉計における新しい像再生方式の提案 松尾太郎(名古屋大学)
	W03c Very Wide Field Imager for Hubble Origin Probe 宮崎 聡(国立天文台)	15:54	W15a 日印共同気球実験による遠赤外線分光マッピング観測の最新成果 金田英宏(宇宙航空研究開発機構)
	W04c HOP/VWFI用プリズム型補正光学系の設計 池田優二(株式会社ジェネシア)	16:06	W16a 赤外線天文衛星ASTRO-Fの現状について 村上 浩(宇宙航空研究開発機構)
14:42	W05a CNC三次元測定機による光学素子測定精度の検証 加藤禎博(国立天文台)	16:18	W17a ASTRO-F搭載近中間赤外線カメラ(IRC)開発の現状報告 和田武彦(宇宙航空研究開発機構)
14:54	W06a JASMINE(赤外線位置天文観測衛星)計画の全般的状況 郷田直輝(国立天文台)	16:30	W18a ASTRO-F/IRCによる中間赤外線全天サーベイ観測(IV) 石原大助(東京大学)
15:06	W07b JASMINEにおける観測装置、システムについて 矢野太平(国立天文台)	16:42	W19b ASTRO-F搭載近中間赤外線カメラIRCの分光モード性能評価 大山陽一(宇宙航空研究開発機構)
15:06	W08b JASMINEシミュレーターの開発VI 山田良透(京都大学)	3月29日(火) 午前・C会場	
15:06	W09b Nano-JASMINE(超小型JASMINE技術実証実験衛星)計画現状 菅沼正洋(国立天文台)	09:00	W20a VSOP-2計画の状況について 平林 久(宇宙航空研究開発機構)
15:18	W10b ナル干渉計と改良瞳法の組合せによる系外惑星検出のための光学系 西川 淳(国立天文台)	09:12	W21a VSOP-2サイエンスアップデート 亀野誠二(国立天文台)
15:18	W11b C/C複合材料による軽量鏡開発(3) 小原直樹(東京大学)	09:24	W22b VSOP-2計画の衛星開発の現状 村田泰宏(宇宙航空研究開発機構)
15:18	W12b GaAs半導体を用いた高感度遠赤外線検出器の開発(3) 渡辺健太郎(宇宙航空研究開発機構)	09:24	W23b VSOP-2における姿勢制御の検討 望月奈々子(宇宙航空研究開発機構)
			W24c VSOP-2広帯域データダウンリンク 河野裕介(国立天文台)

09:24	W25b Astro-E2 搭載 X 線 CCD(XIS) の電荷注入機能によるゲイン及びエネルギー分解能の補正 中嶋 大 (京都大学)	10:12	W36b 宇宙 γ 線衛星 GLAST 搭載 LAT 検出器の高速シミュレータ開発 芹野裕理 (東京工業大学)
09:36	W26b Astro-E2 搭載 X 線 CCD(XIS)BI チップにおける新しい解析法の構築および応答関数の作成 山口弘悦 (京都大学)	10:12	W37b 次期 X 線天文衛星 NeXT 搭載用 N 型 CCD の性能評価 (4) 乾 達也 (京都大学)
09:36	W27b Astro-E2 XIS の軟 X 線領域における量子効率 II 松浦大介 (大阪大学)	10:24	W38b NeXT 衛星搭載用透過型 CCD(SXI) の開発状況と SXI 用 Focal Plane Assembly の熱設計 高木慎一郎 (京都大学)
09:36	W28b Astro-E2 衛星搭載 XIS の地上データ処理の最適化 宮内智文 (大阪大学)	10:24	W39b TES 型マイクロカロリメータの軟 X 線測定および DIOS 衛星へ向けた冷凍機入射窓の検討 星野晶夫 (東京都立大学)
09:48	W29b InFOCuS 気球搭載硬 X 線望遠鏡の X 線特性評価と今後の開発 下田建太 (名古屋大学)	10:24	W40b 理研における X 線偏光計用レーザー加工 GEM の改良とその性能評価 早藤麻美 (東京理科大学)
09:48	W30b X-mas 望遠鏡の X 線照射実験 佐藤順一 (立教大学)	10:36	W41b 大気散乱を用いたガンマ線バーストの偏光測定の可能性の評価 斎藤芳隆 (宇宙航空研究開発機構)
09:48	W31b X-mas 計画地上実験用 X 線源の開発 渡邊岳史 (立教大学)	10:36	W42b ソーラーセイル衛星搭載へ向けたガンマ線バースト偏光検出器の開発 米徳大輔 (金沢大学)
10:00	W32b 大面積 X 線望遠鏡用非球面基板の開発 III 平家和憲 (愛媛大学)	10:48	W43a DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の開発 -III 田原 譲 (名古屋大学)
10:00	W33b Direct Measurement of the signal charge behavior in pn-CCDs with subpixel resolution 平賀 純子 (宇宙航空研究開発機構)	11:00	W44a TES 型 X 線マイクロカロリメータの吸収体の熱的特性の研究 伊予本直子 (NASA/GSFC)
10:00	W34b ガンマ線イメージャー用 64chPMT 読み出し用アナログ VLSI の開発 深沢泰司 (広島大学)		
10:12	W35b 宇宙 γ 線衛星 GLAST 搭載 LAT 検出器の開発試験 水野恒史 (スタンフォード線形加速器センター)		

3月29日(火) 午後・C会場		3月30日(水) 午前・C会場	
13:00	W45a 全天 X 線監視装置 Monitor of All-sky X-ray Image (MAXI) の全体像 上野史郎 (宇宙航空研究開発機構)	14:36	W55a Astro-E2 搭載用 X 線 CCD カメラ XIS の軟 X 線領域での較正 III 並木雅章 (大阪大学)
13:12	W46a 全天 X 線監視装置 (MAXI) 搭載用 CCD カメラのエンジニアリングモ デルの性能 (II) 富田 洋 (宇宙航空研究開発機構)	14:48	W56a X 線 CCD 検出器の宇宙環境におけ るバックグラウンドの起源の解明 狐塚正樹 (宇宙航空研究開発機構)
13:24	W47b 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線 監視装置 MAXI/GSC のエネルギー・ 波高値較正実験 宮川雄大 (青山学院大学)	3月30日(水) 午前・C会場	
13:24	W48b 全天 X 線監視装置 MAXI の地上 データベースからのデータ取得試験 と検出限界シミュレーション 根来 均 (日本大学)	09:00	W57a Astro-E2 衛星搭載カロリメータ検 出器 XRS の最終性能報告 古庄多恵 (宇宙航空研究開発機構)
13:24	W49b 全天 X 線監視装置 MAXI 用シミュ レーションソフトウェアの開発 土屋雄一郎 (青山学院大学)	09:12	W58a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT の概要 小賀坂康志 (名古屋大学)
13:36	W50a Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡の性能決 定要因の評価と応答関数の構築 飯塚 亮 (宇宙航空研究開発機構)	09:24	W59a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT: 硬 X 線望遠鏡の開発 柴田 亮 (名古屋大学)
13:48	W51a 大型放射光施設 SPring-8 を用いた Astro-E2 用 X 線反射鏡の反射率測 定 田村啓輔 (名古屋大学)	09:36	W60a InFOC μ S 気球搭載硬 X 線望遠鏡の 地上特性試験 宮澤拓也 (名古屋大学)
14:00	W52a Astro-E2 搭載用反射鏡基板背面の X 線反射特性の定式化 横山裕士 (宇宙航空研究開発機構)	09:48	W61a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT: 位置感応型シンチレーション 検出器の開発 大西克彦 (名古屋大学)
14:12	W53a ASTRO-E2 衛星搭載 PIN 型シリコ ン検出器の応答特性 岸下徹一 (宇宙航空研究開発機構)	10:00	W62a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT: 焦点面検出器 SD-CCD の概要 宮田恵美 (大阪大学)
14:24	W54a Astro-E2 衛星硬 X 線検出器 (HXD- II) のソフトウェア開発の現状 寺田幸功 (理化学研究所)	10:12	W63a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT: SD-CCD 用 DE の開発 穴吹直久 (宇宙航空研究開発機構)
		10:24	W64a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS- MIT: 大型ゴンドラの開発 古澤彰浩 (名古屋大学)

10:36	W65a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUS-MIT : 大型ゴンドラの姿勢制御試験 中山 力 (名古屋大学)	14:12	W75a 高精度アラインメントによる X 線望遠鏡の結像性能向上の研究 井上裕彦 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	W66a Swift 衛星の運用状況とガンマ線バースト観測の初期成果 佐藤悟朗 (宇宙航空研究開発機構)		
11:00	W67a Swift 衛星搭載 BAT 検出器の軌道上における性能評価 鈴木雅也 (埼玉大学)		
3月30日 (水) 午後・C会場			
13:00	W68a ガンマ線バースト偏光 X 線観測用小型衛星「燕」の開発 齊藤孝男 (東京工業大学)		
	W69c 透過型多層膜を用いた X 線偏光検出器の開発 金井淳一 (立教大学)		
13:12	W70a ピクセル読み出し型 μ -PIC による X 線偏光検出器の開発 (II) 片桐秀明 (京都大学)		
13:24	W71a アバランシェ・フォトダイオードの宇宙利用と放射線耐性 片岡 淳 (東京工業大学)		
13:36	W72a PoGO プロトタイプ検出器の低エネルギー領域に対する試験 金井義和 (東京工業大学)		
13:48	W73a 硬 X 線、ガンマ線観測用 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠鏡の開発 渡辺 伸 (宇宙航空研究開発機構)		
14:00	W74a 4千ch 200 μ m ピッチ 低雑音 CdTe 分光撮像用 2次元 VLSI の開発 蛭田達朗 (宇宙航空研究開発機構)		

Y. 天文教育・その他

3月29日(火) 午前・G会場	
09:00	Y01a 主に小学生を対象とした天文学習プログラムの開発 飯田 毅 (ミュージアムパーク 茨城県自然博物館)
09:12	Y02a すばる望遠鏡山麓施設における小学校3、4年生向け授業 白田・佐藤 功美子 (国立天文台)
09:24	Y03a 小学生は自転・公転を理解できるか? -科学リテラシー育成を目指したカリキュラム案I- 縣 秀彦 (国立天文台)
09:36	Y04a 金星日面経過の観察による体験学習の実践と学習効果 高橋典嗣 (明星大学)
09:48	Y05a 小学校理科に根つきはじめたインターネット天文台 佐藤毅彦 (熊本大学)
10:00	Y06a 高等学校におけるインターネット天文台の活用 松本直記 (慶應義塾高校)
10:12	Y07a JAXAにおける宇宙教育活動ーきみっしょん参加者たちの追跡調査ー 斎藤靖之 (東京大学)
10:24	Y08a 西暦500年と900年の前後における地球自転の急激な変動 相馬 充 (国立天文台)
10:36	Y09b 久米通賢に関する調査・研究 ~新史料に基づく文化8年彗星の観測精度の検討~ 松村雅文 (香川大学)
10:36	Y10b 3 サロス周期、同一地域 - 同様中心食説の検証 竹下幸一 (東京農業大学)
10:36	Y11b 天文普及の現状と変遷 有賀理香 (千葉大学)
10:48	Y12b 小学校から高等学校までを通した天文教育スタンダードの作成 有本淳一 (京都市立塔南高校)
10:48	Y13b 学生と科学系教育施設の協力による天文学普及活動の報告 2 平松正顕 (東京大学)
10:48	Y14b 科学館における電波望遠鏡パラポラアンテナの教材活用 石原裕子 (郡山市ふれあい科学館)
11:00	Y15b 高校生天体観測ネットワーク~2004-2005年度活動と新なる取り組み「高層大気電磁気学分野との連携」 高橋 淳 (ミュージアムパーク 茨城県自然博物館)
11:00	Y16b 大阪教育大学 51cm 反射望遠鏡による惑星状星雲の観測と Visual Atlas の作成 道頭健一 (大阪教育大学)
	Y17c PAONET データベースの構築 尾久土正己 (和歌山大学)
	Y18c 体感教室「虹で宇宙をながめてみよう」 五島正光 (巣鴨中学高校)
	Y19c 3年目を迎えた洛東高校 - 京大花山天文台太陽物理観測実習 西村昌能 (洛東高校)

第7回 ジュニアセッション

主催：日本天文学会
共催：天文教育普及研究会、高校生天体観測ネットワーク
後援：日本惑星協会

セッション1：流星I (10:04～10:36 / 講演各6分+質疑8分)

- 01：月面衝突発光 ～ペルセ群の発光観測～ 〈口頭・ポスター〉
益田大嗣 (高2)、野田恵理 (高1) 【愛知県立一宮高等学校地学部】
- 02：流星物質の質量分布 〈口頭・ポスター〉
川角佳嗣、松林 誠 (高2)、田高史規、清水麻衣、螺良侑希 (高1)
【埼玉県立越谷北高等学校天文気象部】
- 03：2004年ペルセウス座流星群の極大を捉える！ 〈口頭・ポスター〉
池田真夢、岩瀬恵梨子、大塚育美、畠山枝理子、松下まなみ (高2)
【埼玉県立越谷北高等学校天文気象部】
- 04：電波で捉えたペルセウス座流星群 〈口頭・ポスター〉
岩瀬恵梨子、大塚育美、畠山枝理子、松下まなみ、池田真夢 (高2)
【埼玉県立越谷北高等学校天文気象部】

セッション2：流星II (10:36～11:16 / 講演各6分+質疑10分)

- 05：流星群の観測結果 ～電波観測と眼視観測の比較～ 〈口頭〉
桑原永介、武田誠也、池田亨順、古川 瑛 (高2) 【那須高原海城高等学校】
- 06：流星電波観測 (HRO) におけるロングエコー計測による
地球へ降り注ぐ流星の総質量の決定 〈口頭・ポスター〉
山田英史、熊川銀河、柴田晃佐 (高専1) 【長野工業高等専門学校】
- 07：電波観測によるここ3年のペルセウス座流星群の出現状況について 〈口頭・ポスター〉
【星野高等学校天文部】
- 08：2周波数による流星電波観測 (53MHz & 28MHz) で何が分かるか 〈口頭・ポスター〉
【西武台高等学校天文部 (高2、高1)】
- 09：アマチュア無線帯3波長によるHRO 〈口頭・ポスター〉
浅井 勉、大隅明紀、菊川裕幸、西田繕大 (高1) 【兵庫県立有馬高等学校科学部】

セッション3：太陽系 (11:16～11:56 / 講演各6分+質疑10分)

- 10：土星の質量算出 〈口頭〉
蓮井康宏、吉澤 剛、児島 崇 (高3) 【慶應義塾高等学校】
- 11：硫酸の湿潤乾燥の繰り返しによる玄武岩の変化 〈口頭〉
荒井裕也 (中2)、稲垣貴弘 (中1) 【大田区立南六郷中学校】
- 12：金星の太陽面通過から1AUを求める 〈口頭・ポスター〉
大澤 大 (中2) 【巣鴨中学校】
- 13：2004年10月14日の部分日食について 〈口頭・ポスター〉
倉又千咲、鈴木万里菜、堂前亜子、本間涼香 (中2)、成瀬絢子 (中1)
【遺愛女子中学校地学部】
- 14：部分日食の観測 〈口頭〉
田口達彦 (高2)、スーパーサイエンスI (天文) 履修者一同 【慶應義塾高等学校】

セッション4：太陽（11:56～12:28／講演各6分+質疑8分）

- 15：太陽黒点の磁場の極性と強さ …………… 〈口頭・ポスター〉
兼田 匠、山中 渉（高2）【京都府立洛東高等学校】
- 16：プロミネンスの速度場について …………… 〈口頭・ポスター〉
津田直幸（高2）、青山勇氣、森坂輩之（高1）【京都府立洛東高等学校】
- 17：フレアのH α プロフィール …………… 〈口頭・ポスター〉
福島円香（高2）、幾山靖代、若林 愛（高1）【京都府立洛東高等学校】
- 18：コロナホールはH α 線で見えるか？ …………… 〈口頭・ポスター〉
青木良枝、大島由也、角田俊一、松本 卓（高専2）、中江祥平（高専1）
【米子工業高等専門学校】

特別講演：（14:30～15:10）

相対論が果たした役割-ぼくたちは相対論的世界に住んでいる
福江 純（大阪教育大学）

セッション5：世界物理年（15:10～15:42／講演各6分+質疑8分）

- 19：アインシュタインの生涯と業績 …………… 〈口頭・ポスター〉
伊藤かの子（3年）、他物理選択者10名【静岡県立静岡中央高等学校】
- 20：VLBIによる電波銀河の解析～電波望遠鏡でブラックホール天体に挑戦～ …… 〈口頭・ポスター〉
市川淳規、水野いづみ、山田智哉（高2）【岐阜県立岐山高等学校】、
堀あゆ美（高2）【岐阜県立岐阜高等学校】、
近藤英介（高2）、橋本慎也（高1）【愛知県立一宮高等学校】
- 21：レーマーの光速測定実験の実践 …………… 〈口頭〉
木津 諒（高2）、美濃部論（高3）【慶應義塾高等学校】
- 22：ハーシェルの金属鏡望遠鏡の再現 …………… 〈口頭〉
高森千佳、所 佳実（高2）【茨城県立水戸第二高等学校】

セッション6：恒星（15:42～16:14／講演各6分+質疑8分）

- 23：トランジット法による系外惑星探査 …………… 〈口頭・ポスター〉
高嶋 寛、小山裕依子、小野さなえ、石黒有紀、川田 賢、
百瀬太一、米倉宏昭、早水友洋（高2）【成蹊高校天文気象部】
- 24：変光星アルゴルの観測よりわかったこと …………… 〈口頭〉
美濃部論、安川洋太、有馬光彦、門倉洋平（高3）【慶應義塾高等学校】
- 25：スペクトルによる恒星温度の推定 …………… 〈口頭〉
桑原永介（高1）【那須高原海城高等学校】、保木健司（高1）【愛知県立東郷高等学校】、
原 史明、三澤 茜、和田美由希（高1）【木曽高等学校】、
大清水道也（高1）【神奈川県立湘南高等学校】、大木 健（高2）【明星高等学校】、
吉野晴美（高2）【群馬県立沼田女子高等学校】、下村悠介（高3）【洛星高等学校】
- 26：「MEADE LX200GPS-30」用分光器の製作 …………… 〈口頭・ポスター〉
大島悠揮、瀬川知行、成松美喜（高2）、近藤 翔、岩根由典、
佐藤一政（高1）【岡山商科大学附属高等学校】

セッション7：銀河（16:14～16:46／講演各6分＋質疑8分）

- 27：超新星 2004dj の観測 …………… 〈口頭〉
 田口達彦（高2）、安川洋太（高3）【慶應義塾高等学校】、
 岩沢ありあ（高2）【聖心女学院高等科】、
 佐藤更紗（高1）【日本大学藤沢高等学校】
- 28：天の川は何でできているのか …………… 〈口頭・ポスター〉
 青木 潤、小澤敏之（高1）【長野県立木曾高等学校】、
 金澤 慧（高1）【群馬県立高崎高等学校】、西尾 章（高1）【岐阜県立恵那高等学校】、
 宮田英明（高2）【早稲田大学高等学院】、村井研太（高1）【長野県立木曾高等学校】、
 池谷典子（新高1）【岐阜私立済美高校】、大久保智絵理（新高1）【私立八王子高等学校】、
 大野 渚（新高1）【東京都立青山高等学校】、浜田沙希（新高1）【三重県立上野高等学校】、
 増田典子（高1）【愛媛県立松山東高等学校】、山之内遥（新高1）【東筑紫学園高等学校】
- 29：自作アンテナを用いた電波望遠鏡の製作と銀河電波の検出 …………… 〈口頭・ポスター〉
 田口聖久、鈴木康右（高2）、加茂直之、原菜見子、中村大輝、別府歩美（高1）
 【静岡県立浜松北高等学校】
- 30：分光観測による銀河の後退速度測定 …………… 〈口頭〉
 久保田夕紀（大1）【筑波大学】、植田準子（高3）【京都市立堀川高等学校】、
 杉田知大（高3）【神奈川県立神奈川総合高等学校】、
 鳥飼 瞳（高3）【山口県立光丘高等学校】、藤井良宇（高3）【岐阜県立恵那高等学校】、
 伊藤創祐（高2）【愛知県立旭丘高等学校】、中谷倫哉（高2）【上宮高等学校】、
 久保栄子（高1）【奈良学園高等学校】、藤本西藏（高1）【初芝富田林高等学校】

ポスター

- 31：ダスト・トレール内の流星サイズ分布の研究 …………… 〈ポスター〉
 下嵯ゆり、小林智幸、兒玉洋平、川手俊憲（高専3）、
 山田真広、増井香織（高専2）【長野工業高等専門学校】
- 32：金星の太陽面通過時におけるブラックドロップ現象について …………… 〈ポスター〉
 佐藤竜一、高橋 慎、中原裕太、吉澤純一（高1）
 【埼玉県立三郷工業技術高等学校自然科学部】
- 33：2004年6月8日金星太陽面通過の観測による1天文単位の算出 …………… 〈ポスター〉
 田口聖久（高2）【静岡県立浜松北高等学校】
- 34：冷却CCDによる彗星観測 …………… 〈ポスター〉
 岩崎浩大、鷺津陽介（高2）、橋本慎也、秋田智哉（高1）
 【愛知県立一宮高等学校地学部】
- 35：星の寿命 …………… 〈ポスター〉
 菅本知望（中等1）【東京大学教育学部附属中等教育学校】

2005年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	百瀬宗武	(茨城大学)
委員	加藤万里子	(慶應大学) 保育室担当
	河野孝太郎	(東京大学)
	清水敏文	(国立天文台)
	鈴木知治	(東京大学)
	田村隆幸	(宇宙航空研究開発機構)
	中本泰史	(筑波大学)
	根來均	(日本大学)
	本原顕太郎	(東京大学)
	山村一誠	(宇宙航空研究開発機構)

年会開催地理事

	成相恭二	(明星大学)
--	------	--------